

種目（国語）

項目 書名	<h1 style="text-align: center;">新編 新しい国語</h1> <div style="text-align: right;"> <math>\frac{2}{東書}</math> </div>						
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の各学年の目標と内容、言語活動例をもれなく扱えるように教材を選定し、単元を組織している。</li> <li>○基礎・基本の確実な習得に重点を置き、また、児童の発達段階、つきたい力や活動の系統性を考慮し単元の配列を行っている。</li> <li>○6年間を通じて系統的・段階的に学んだり、振り返りできるようになっている。</li> </ul>						
特色	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="209 533 371 1368" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           内容         </td> <td data-bbox="371 533 1414 1368"> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に、つきたい力として「言葉の力」の欄が設けられている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や図、表など、非連続型テキストが豊富に用いられており、思考力、判断力、表現力の育成に適している。</li> <li>・情報を活用して読んだり話したりする単元が設定してある。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の「言葉の力」が活用できるように、各単元に、前学年までの既習事項との関連を示す「つながる」欄が示してある。また、他教科の学習や実生活に活用できるように、必要に応じて「ひろがる」欄も設けてある。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、スピーチや作文の例が提示してあり、参考にできる。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本のしらべ」が各学年4カ所、設定されており、四季に関する言葉や詩歌を味わうことができる。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の言の葉」が各学年2カ所、設けられており、言語文化への理解と愛着を促す工夫がしてある。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1368 371 1570" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           資料         </td> <td data-bbox="371 1368 1414 1570"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元ごと一番最初のページに小さくイラストや写真が入っている。</li> <li>○説明文（3年生）では、児童に身近である、ほげんだよりを入れている。</li> <li>○単元に合わせて、淡い、濃いイラストになっている。写真もイラストも美しい。</li> <li>○脚注の新出漢字には水色で囲みがしてある。前学年で習った漢字の学習では、確認テスト形式になっていて、答えが巻末に示されている。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1570 371 1720" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           表記・表現         </td> <td data-bbox="371 1570 1414 1720"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目次の次に「国語の学習の進め方」が示してあり、各単元で使われている「言葉の力」「つながる」などのコーナーの色や内容の説明がある。</li> <li>○各単元冒頭ページに単元のねらいと言語活動が明記されている。</li> </ul> </td> </tr> </table>	内容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に、つきたい力として「言葉の力」の欄が設けられている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や図、表など、非連続型テキストが豊富に用いられており、思考力、判断力、表現力の育成に適している。</li> <li>・情報を活用して読んだり話したりする単元が設定してある。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の「言葉の力」が活用できるように、各単元に、前学年までの既習事項との関連を示す「つながる」欄が示してある。また、他教科の学習や実生活に活用できるように、必要に応じて「ひろがる」欄も設けてある。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、スピーチや作文の例が提示してあり、参考にできる。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本のしらべ」が各学年4カ所、設定されており、四季に関する言葉や詩歌を味わうことができる。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の言の葉」が各学年2カ所、設けられており、言語文化への理解と愛着を促す工夫がしてある。</li> </ul>	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元ごと一番最初のページに小さくイラストや写真が入っている。</li> <li>○説明文（3年生）では、児童に身近である、ほげんだよりを入れている。</li> <li>○単元に合わせて、淡い、濃いイラストになっている。写真もイラストも美しい。</li> <li>○脚注の新出漢字には水色で囲みがしてある。前学年で習った漢字の学習では、確認テスト形式になっていて、答えが巻末に示されている。</li> </ul>	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目次の次に「国語の学習の進め方」が示してあり、各単元で使われている「言葉の力」「つながる」などのコーナーの色や内容の説明がある。</li> <li>○各単元冒頭ページに単元のねらいと言語活動が明記されている。</li> </ul>
内容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に、つきたい力として「言葉の力」の欄が設けられている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や図、表など、非連続型テキストが豊富に用いられており、思考力、判断力、表現力の育成に適している。</li> <li>・情報を活用して読んだり話したりする単元が設定してある。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の「言葉の力」が活用できるように、各単元に、前学年までの既習事項との関連を示す「つながる」欄が示してある。また、他教科の学習や実生活に活用できるように、必要に応じて「ひろがる」欄も設けてある。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、スピーチや作文の例が提示してあり、参考にできる。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本のしらべ」が各学年4カ所、設定されており、四季に関する言葉や詩歌を味わうことができる。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の言の葉」が各学年2カ所、設けられており、言語文化への理解と愛着を促す工夫がしてある。</li> </ul>						
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元ごと一番最初のページに小さくイラストや写真が入っている。</li> <li>○説明文（3年生）では、児童に身近である、ほげんだよりを入れている。</li> <li>○単元に合わせて、淡い、濃いイラストになっている。写真もイラストも美しい。</li> <li>○脚注の新出漢字には水色で囲みがしてある。前学年で習った漢字の学習では、確認テスト形式になっていて、答えが巻末に示されている。</li> </ul>						
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目次の次に「国語の学習の進め方」が示してあり、各単元で使われている「言葉の力」「つながる」などのコーナーの色や内容の説明がある。</li> <li>○各単元冒頭ページに単元のねらいと言語活動が明記されている。</li> </ul>						
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的な学習を通して、学習の重点となる「言葉の力」が着実に積み重ねられるよう配列されている。既習事項との関連を示す「つながる」や他教科や実生活に活用できるよう「ひろがる」欄を設けている。「日本のしらべ」や「日本の言の葉」を設け、優れた言語文化への理解と愛着、豊かな言語感覚を養うようになっている。</li> </ul>						

種目（国語）

項目 書名	みんなと学ぶ 小学校国語 <span style="float: right;">11 学 図</span>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○学習指導要領の各学年の目標と内容、言語活動例をもれなく扱えるように教材を選定し、単元を組織している。 ○学び方を学びながら活用力と豊かな心を育てるための単元配列となっている。 ○児童の学びの意欲が持続するよう、学校と家庭の双方から働きかけられる形になっている。
特色 内容 資料 表記・表現	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の単元では、読むための知識・技能が、「国語のカギ」や「授業で使う言葉」のコーナーで、系統的に提示されている。</li> <li>・「書くこと」では、「書き方・まとめ方」の小単元が設けられており、ここで基礎的・基本的な知識・技能を身につけるようになっている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や図、表など、非連続型テキストが豊富に用いられており、思考力、判断力、表現力の育成に適している。</li> </ul> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体把握から細部の読みへ、さらに学習内容を活用して表現するといった読解プロセスの流れが提示してあり、主体的に学習できるようになっている。</li> </ul> <p>＜言語感覚を養うための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉のきまり」では文法について、「言葉の泉」では言葉の使い方について学ぶことができ、言語感覚を養うことができるようになっている。</li> </ul> <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「漢字の部屋」では漢字の構成や成り立ちについて示されており、国語を実生活に生かせる工夫がしてある。</li> </ul>
	<p>○最初の詩、見開き2ページで写真の上に詩がのっている。</p> <p>○詩には、イラストが入っている場合と入っていない場合がある。</p> <p>○説明文や物語文の学習のてびきは、写真入りで、（ ）に言葉を入れるようになっている。</p> <p>○教科書各巻末に、「保護者の方へ」のページを設けている。</p>
	<p>○言語事項の学習は、内容ごとに色分けがしてあり、ページ横がインデックス風になっている。</p> <p>○「読む」の単元には「読むレッスン」が一部、「学習のてびき」が全部についている。「話すこと・聞くこと」単元では「単元の学習の流れ」がついている。</p>
総括	<p>○各単元において、学び方や目標達成のための手順が示されており、学び方を学びながら、活用力と豊かな心を育てる構成になっている。各巻末に「保護者の方へ」のページを設け、児童が今、学校で何を学んでいるか、教科の時間でどんな学力を付けようとしているのかをまとめている。</p>

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;"><b>小学生の国語</b></p> <p style="text-align: right;">15 三省堂</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○学習指導要領の各学年の目標と内容、言語活動例をもれなく扱えるように教材を選定し、単元を組織している。</p> <p>○個に応じた学習を前提とした資料集が別冊になっている。</p> <p>○読書活動の推進を図るため「あまんさんの部屋（書き下ろし）」「読書の森」「小さな図書館」を設定している。</p>	
<p>特色</p>	<p>内容</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○単元毎に新出漢字の書き順や読み方を載せているページがあり、漢字の確実な習得ができるようになっている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○はじめ・中・おわりの構成を繰り返し学習しながら、「書くこと」から「考えること」につなげて学習できる。</p> <p>○レポートの書き方・新聞の割り付けを図解されているので、分かり易く捉えることができる。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○「やってみたい」「伝えたい」と思うような教材を系統的・段階的に学べる仕組みになっている。</p> <p>○「話す・聞く」や「書くこと」の学習系列を関連させて、体得できるようになっている。</p> <p>&lt;言語感覚に養うための工夫&gt;</p> <p>○「学びを広げる」別冊子があり、他教科でも活用できるようになっている。</p> <p>○「覚えておきましょう」のコーナーがあり、基礎的・基本的な言語技能の定着を図っている。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○俳句や短歌など古典を音読・暗唱できる学習や日常生活と結びつけた「カルタ」「短歌」の制作の学習ができる。</p>
	<p>資料</p>	<p>○子ども達が好きなキャラクターを使用している。（1年生でちびまるこちゃん、5年生でクレヨンしんちゃん）</p> <p>○1年生の早い時期から写真が入っていて、全体的に写真が多めである。</p> <p>○物語で切り絵のような挿絵がある。</p> <p>○説明文では、図1、図2のような説明や図が多く入っている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○各左ページ下に単元名が全て書かれているので、目的の教材を探しやすい。</p> <p>○新出漢字は、漢字辞典に記載されている簡単な内容（音訓読みとその熟語例、筆順、画数）が、単元ごとに示されている。</p> <p>○点画等を書き文字に近づけたオリジナルの活字を使用している。</p>
<p>総括</p>	<p>○教科書『小学生の国語』と個に応じた学習を前提とし、必要に応じて参照できる資料集『小学生の国語 学びを広げる』の2分冊構成となっている。全学年共通した教材配列を設定し、各学年の発達段階や教材どうしの連続性を考慮してある。見開きの一覧性を生かし、全ての教材が、見開きの右ページから始まるようになっている。</p>	

種目（国語）

項目 書名	<h1 style="text-align: center;">ひろがる言葉 小学国語</h1> <div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">17</span> 教 出         </div>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の目標に即した学習のポイントは、「ここが大事」として明示され、基礎基本が身につくよう、巻末のページに指導事項と学習用語のまとめ「この本で学ぶこと」が載っている。</li> <li>○全ての学年に、創作のための教材、国際協調や平和について考える契機となる作品を掲載している。</li> </ul>
特 色	<div style="margin-bottom: 10px;"> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の書き方が解説されている。</li> <li>○学校図書館の十進分類法について、表示が示されている。</li> <li>○理由を表すことば等、例をあげて解説されている。実際にその言葉を使いながらスピーチ等に活用ができるようになっている。</li> </ul> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カードを使って、思考整理、文章構成を考えることができるようになっている。</li> </ul> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「話す・聞く」の活動のあとに必ず振り返りがあり、自己評価をし、次の学習に生かすことができるようになっている。</li> </ul> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>＜言語感覚に養うための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表記・主語と述語・画数等の学習を学年ごとにスパイラルしながら、習得できるようになっている。</li> <li>○「話すこと・聞くこと」では発表内容を考えたり、発表し合ったりする時に、児童同士でのアドバイス等交流ができるようになっている。</li> </ul> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>＜国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭詩・詩の学習から始まっている。</li> <li>○漢文の代表的な作品を親しみ、言葉のリズムや響きを味わえるような学習になっている。</li> </ul> </div>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○写真には、何の写真であるかの説明の言葉が入っている。</li> <li>○説明文では、写真の1部分をズームして説明されているものがある。</li> <li>○2年「いなばの白うさぎ」紙人形劇で使えるものがついている。</li> <li>○イラストの色は、全体的に淡い感じのものの方が多く、目に優しい。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」に「学習の進め方」が記載されている。</li> <li>○巻末の「新しく習った漢字」では、漢字辞典に記載されている簡単な内容（音訓読みとその熟語例、筆順、画数、部首）が示されている。</li> <li>○「ふりかえり」が具体的に表記されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○“学びのステップ”として、「何のために」「何を」「どのようにして」学習するのか、「今、何を学習しているのか」がわかるように構成されている。また、「学習のポイント」や他教科の学習でも活用できるツール、活動の留意点が明示されている。掲載された写真には、何の写真であるか説明が入っている。</li> </ul>

## 種目（国語）

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">国語</h1> <hr style="width: 10%; margin: 0 auto;"/> 38 光村						
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に示されている指導内容を、さらに細かく具体的に分割して、各単元に配当し、力が着実に積み重なっていく仕組みになっている。</li> <li>○学習指導要領の目標に即した学習のポイントは「たいせつ」として明示されている。</li> <li>○各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材が選定作成されている。</li> </ul>						
特色	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="212 533 371 1305" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           内容         </td> <td data-bbox="371 533 1415 1305"> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に、身につけたい力を「たいせつ」欄に箇条書きで整理されている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の単元では、どの指導事項に重点を置くのかが明示されており、児童にも分かるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書全体が「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成されており、習得・活用・探究が繰り返されながら力をつけられるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の単元では、学習の手引きが、「読みの観点」と「言語活動の手順」の2段階で構成されており、学習の流れが明確になっている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、「学習の流れ」の欄が設けられており、どのように進めていけばよいかが一目で分かるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「季節の言葉」や「声に出して読もう」では、写真や絵などが充実しており、伝統文化に親しんだり、豊かな言語感覚を養ったりするようになっている。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞いて楽しもう」「言葉の宝箱」など、国語に興味をもたせる工夫がある。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1305 371 1509" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           資料         </td> <td data-bbox="371 1305 1415 1509"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「本はともだち」だけが、うすい黄色の紙で印刷されている。</li> <li>○2年「あったらいいなこんなもの」で、児童の好きなドラえもんを使用している。</li> <li>○実物を実感できるよう、4年生の点字では、実際に凹凸の形で載っている。</li> <li>○詩には淡い色の形、線などが描かれていて、想像を助けている。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1509 371 1682" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           表記・表現         </td> <td data-bbox="371 1509 1415 1682"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」単元では、学習の手引きが見開きで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」単元では、単元冒頭に「活動の流れ」が記載されている。</li> <li>○年間4か所「季節の言葉」を写真や絵とともに示している。</li> <li>○全学年に、民話・昔話の読み聞かせ教材を配置している。</li> </ul> </td> </tr> </table>	内容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に、身につけたい力を「たいせつ」欄に箇条書きで整理されている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の単元では、どの指導事項に重点を置くのかが明示されており、児童にも分かるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書全体が「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成されており、習得・活用・探究が繰り返されながら力をつけられるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の単元では、学習の手引きが、「読みの観点」と「言語活動の手順」の2段階で構成されており、学習の流れが明確になっている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、「学習の流れ」の欄が設けられており、どのように進めていけばよいかが一目で分かるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「季節の言葉」や「声に出して読もう」では、写真や絵などが充実しており、伝統文化に親しんだり、豊かな言語感覚を養ったりするようになっている。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞いて楽しもう」「言葉の宝箱」など、国語に興味をもたせる工夫がある。</li> </ul>	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「本はともだち」だけが、うすい黄色の紙で印刷されている。</li> <li>○2年「あったらいいなこんなもの」で、児童の好きなドラえもんを使用している。</li> <li>○実物を実感できるよう、4年生の点字では、実際に凹凸の形で載っている。</li> <li>○詩には淡い色の形、線などが描かれていて、想像を助けている。</li> </ul>	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」単元では、学習の手引きが見開きで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」単元では、単元冒頭に「活動の流れ」が記載されている。</li> <li>○年間4か所「季節の言葉」を写真や絵とともに示している。</li> <li>○全学年に、民話・昔話の読み聞かせ教材を配置している。</li> </ul>
内容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に、身につけたい力を「たいせつ」欄に箇条書きで整理されている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の単元では、どの指導事項に重点を置くのかが明示されており、児童にも分かるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書全体が「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成されており、習得・活用・探究が繰り返されながら力をつけられるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の単元では、学習の手引きが、「読みの観点」と「言語活動の手順」の2段階で構成されており、学習の流れが明確になっている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、「学習の流れ」の欄が設けられており、どのように進めていけばよいかが一目で分かるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「季節の言葉」や「声に出して読もう」では、写真や絵などが充実しており、伝統文化に親しんだり、豊かな言語感覚を養ったりするようになっている。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞いて楽しもう」「言葉の宝箱」など、国語に興味をもたせる工夫がある。</li> </ul>						
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「本はともだち」だけが、うすい黄色の紙で印刷されている。</li> <li>○2年「あったらいいなこんなもの」で、児童の好きなドラえもんを使用している。</li> <li>○実物を実感できるよう、4年生の点字では、実際に凹凸の形で載っている。</li> <li>○詩には淡い色の形、線などが描かれていて、想像を助けている。</li> </ul>						
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」単元では、学習の手引きが見開きで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」単元では、単元冒頭に「活動の流れ」が記載されている。</li> <li>○年間4か所「季節の言葉」を写真や絵とともに示している。</li> <li>○全学年に、民話・昔話の読み聞かせ教材を配置している。</li> </ul>						
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6年間で、学習が螺旋的に積み重ねられる構成となっている。児童が、学習の見通しをもって、主体的に学べるよう、「活動の流れ」によって明示されている。身につけたい力を、「たいせつ」欄に整理してある。また、児童の語彙を豊かにし、心を育てるために、写真や絵とともに言葉や詩歌を示した「季節の言葉」や「言葉の宝箱」を設けている。</li> </ul>						

## 種目（書写）

書名 項目	新編 新しい書写 <span style="float: right;"> <math>\frac{2}{}</math>          東書       </span>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○学習事項を繰り返し意識させることで、書写の基礎・基本的な知識が確実に身に付くよう配慮されている。 ○各学年に、童謡や古文・漢文などの「伝統的な言語文化」に関連する文章をなぞり書きさせる教材を設定している。	
特色	内 容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆教材は、硬筆から導入するようになっている。</li> <li>・「調べよう」で、書写の原理・原則を発見させられるように工夫されている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べよう」で学習内容をつかみ、さらに「確かめよう」の文章を読むことで、書写の原理・原則を一般化し、他の文字にも応用できるように工夫されている。</li> </ul> <p>＜主体的に学習に取り組む工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き込み欄が多く、練習帳の機能をもたせてある。ここで、学習したことの定着を図ることができる。</li> <li>・毛筆教材の左側に学習事項のインデックスが設けられており、関連する既習事項や参照ページが記されている。主体的に学習を進めるのに適している。</li> </ul> <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年に1ページずつ、他教科で活用できるノート例が示されている。また、高学年の「生活に広げよう」には、各行事に合わせて書写を活用する場面が紹介されている。書写で学習したことを生活の中に生かす態度を養うことができる。</li> <li>・全学年に、童謡や古文・漢文などの伝統文化に親しむことのできる、なぞり書き教材が用意されている。</li> </ul>
	資 料	○1年生では、楽しく学習できるよう、動物のイラストの中になぞる線がある。 ○文字の説明では、特に注目すべき所をズームにして説明している。 ○学習の振り返りでは、動物のイラストの中に○△があり、その中に書き込むようになっている。
	表記・表現	○判型の横幅が広がっている。 ○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が分かりやすく表記されている。 ○簡潔明瞭な指示で、大切な言葉は朱で表現されている。
総 括	○判型の横幅が広がったワイドな紙面となっていて、書き込み欄が多くなっている。低学年で点画・筆使い、中学年で字形の整え方、高学年で配列・点画のつながり、という学習設定となっている。教材は、「練習」「生活に広げよう」「まとめ」の構成となっており、基礎基本の徹底、応用、確認の学習の流れとなっている。	

種目（書写）

<p>項目</p>	<p>書名 <b>みんなと学ぶ 小学校書写</b></p> <p style="text-align: right;">11 学図</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○獲得した書字の技能を、学習の場、生活の場において用いることができるように、実感の伴う活用を場を例示している。</p> <p>○伝統的な言語文化の古典の部分、題材または視覚資料として、各学年に掲載している。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてや学習内容が的確に示されており、どの点に気をつけて書けば良いかが明確である。</li> <li>・筆の写真を多く使っている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉書の書き方やメモの取り方、資料の書き方などのページが豊富で、書写で学習したことを様々な場面で活用できるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の進め方（観察→試し書き→自己評価・課題の見出し→練習→まとめ書き→振り返り）が提示されており、主体的に学習できるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句や短歌、連詩などを扱ったページがあり、伝統文化にも親しめるようになっている。</li> <li>・筆や墨、和紙ができるまでが紹介されており、書写に関する道具に興味をもてるように工夫されている。</li> </ul> <p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しく学習できるよう、1，2年生の評価欄には、シールが貼れるようになっている。</li> <li>○キャラクターによる、吹き出しでポイントを説明している。</li> <li>○裏表紙に、この教科書でめざすこと（単元、内容、めざすこと）が載っている。</li> <li>○動物イラストの動きで、「とめ、はね、はらい」などを説明している。</li> </ul> <p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆で学んだ字形などを、硬筆にも生かして書き込む欄が多い。</li> <li>○文字の大きさや配列を、色分けなどして意識させる表現になっている。</li> </ul>
<p>総括</p>	<p>○書写の技能を獲得するに至るプロセス（「観察」→「試し書き」→「自己評価」→「練習」→「まとめ書き」）が明示されている。児童が興味をもって学習に取り組めるよう、「えんぴつはかせ」「筆博士」のキャラクターを登場させている。また、1，2年生においては、自己評価欄に貼る「できたかなシール」が設けられている。</p>

種目（書写）

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;"><b>小学生の書写</b></p> <p style="text-align: right;">15 三省堂</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○獲得した書字の技能を、学習の場、生活の場において用いることができるように、実感の伴う活用を場を例示している。</p> <p>○低・中・高学年とそれぞれの発達段階を考慮して、効果的に学習が行えるよう、内容と構成が工夫されている。</p> <p>○伝統的な言語文化の古典の部分を、視覚資料として各学年に掲載している。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○文字や線を指でなぞる活動を入れて、文字の書き方を習得できる工夫がされている。</p> <p>○姿勢や筆の持ち方・腕の動かしを体得できるようにしている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○どのように書いたら読みやすくなるか、目的や状況に応じてどのように判断して書けばよいのか等考えてみたことを実践して確かめるという学習の構造化を図っている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「書く→分かる→書いて確かめる→振り返る」という学びの手順が分かりやすく示されている。</p> <p>○学習したことを教科書に書き込める欄があり、振り返りができるようになっている。</p> <p><b>&lt;国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</b></p> <p>○目的や・相手を意識して書くなど、実生活に活用できるようになっている。</p> <p>○他教科・学校生活の中で書く活動の場面を取り上げている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○全体的に色が薄めで、目に優しい。イラストや写真が少なめである。</p> <p>○振り返りでは、1つのイラストと○印で、書くようになっている。</p> <p>○男の子と女の子が吹き出しでポイントを説明している。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○毛筆で学んだ字形などを、硬筆にも生かして書き込み欄が多い。</p> <p>○色や指示が明瞭になっている。</p> <p>○穂先や腕の動かし方を部分ごとに絵で示している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○児童の発達段階を考慮した内容と構成になっている。各教材の最後に、自己評価の観点を示し、児童の意欲を喚起するようになっている。また、理解したことをすぐ書き込めるように、書き込み欄を随所に設けている。書字が文化であることを気づかせるため、書き初めを全学年で取り上げたり、文房四宝（筆・硯・墨・紙）の作り方を取り上げている。</p>	



## 種目（書写）

項目	書名 <b>小学 書写</b> <span style="float: right;">17 教出</span>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○場に応じた書き方を身につけられるように、また、読み手に配慮した書き表し方を考えて表現する力が身につくように、配慮されている。</p> <p>○日本語の美しさを体感できるような教材や文章を選定している。</p> <p>○「学習の進め方」を掲示し、主体的に学習する能力が高められるよう工夫している。</p>	
特色	内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○各学年、鉛筆の持ち方、筆の持ち方が巻頭に折り込みで2段階に掲載されている。</p> <p>○用具の準備や後片付けの手順が説明されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○ 墨をつけた筆の穂先に朱墨をつけて書いてみると「穂先の通り道」が分かる。筆の運び方、筆圧などが分かるように示されている。</p> <p>○一ますを4つの部屋に分けどこから書いたらよいか字の形やバランスを考えながら書くことができる。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「巻末のページには、「しょしゃのたいそう」（1年生）のコーナーがあり、イラスト付きで「おれ、まがり、はらい」などの体を使いながら書くことを学習できる。</p> <p>○「トライあんどチャレンジ」のページが単元ごとの終わりにあり、習得したことを日常生活に生かして活用できるようになっている。</p> <p><b>&lt;国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</b></p> <p>○国語の教科書から、「おおきなかぶ」「枕草子」などの一節や言語活動で手紙や新聞の書き方が取り上げられ、抵抗なく国語と関連させながら学習できる。</p> <p>○巻末には、カラーで手書きの漢字の一覧表が2学年分折り込みで載せてある。</p>
	資 料	<p>○表紙裏に、えんぴつの持ち方、筆の持ち方などの写真とイラストが載っている。</p> <p>○はらったり、とめたりというところで、動物が遊具や用具で動作しているイラストを使っている。</p> <p>○筆、墨、硯、紙などの作り方が写真入りで載っている。</p>
	表記・表現	<p>○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が分かりやすく表記されている。</p> <p>○「トライあんどチャレンジ」で、学んだことを他の用紙や形式に活用できるよう、場面に応じた書き方のポイントが具体的に解説されている。</p> <p>○3年生以上では、学習のめあてが記号で統一され示してある。</p>
総 括	<p>○学習内容や手順が明確に示され、児童が主体的に学習できるような構成となっている。また、基礎・基本の確実な習得の上で、他の学習や日常生活に活用できる力の育成を考慮している。各学年の硬筆教材は、国語との関連を考え、国語の教科書から取り上げている。全学年において、裏表紙に、鉛筆・筆の持ち方の写真を取り上げて、いつでも確認できるようになっている。</p>	

## 種目（書写）

書名		38	
項目	書写	光村	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての学習要素を無理なく習得できるよう、発達の段階に応じて、段階的、系統的に教材を配列している。</li> <li>○基礎基本の定着を図るため、「たいせつ」を設けている。また、自己評価欄があり、学習の前後を比較し、主体的な学びを喚起している。</li> <li>○身近な動物や自然に取材した言葉やイラストを使っている。</li> </ul>		
特色	内容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指でなぞるところもいれながら、文字の形、筆順等を確認しながら学習が進められる。</li> <li>○書くときの姿勢・筆の持ち方など分かり易く、見やすく説明されている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「たいせつ」「ふりかえろう」が光村図書の「国語」と同様になっている。</li> <li>○字形の整え方のポイントが示されている。</li> </ul> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の見通しを持たせるために「学習の進め方」が掲載されている。</li> <li>○見やすく、分かり易く大切なことが一目で分かるようにのせられているため、児童も意欲的に取り組める。</li> </ul> <p>＜国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末に漢字の一覧表があり、書き順の番号が書いてある。</li> <li>○「もっと知りたい」（6学年）のコーナーで発展的な学習ができる。</li> </ul>	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運筆、リズムなどの身体的、感覚的な学習内容を、イラストや図、擬態語などで説明している。</li> <li>○毛筆では、朱墨と墨で書かれた文字や基本点画がある。</li> <li>○4年生「かまえ・たれ」では、中の部分にシールを貼り、文字のバランスをとらせる学習が載っている。</li> </ul>	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が分かりやすく表記されている。</li> <li>○「たいせつ」欄で学習のポイントが整理して明記されている。</li> <li>○どちらの書き方がよいか等、よりよい字形を考えさせる場が多い。</li> <li>○学習の重点や硬筆など書き込みの欄が多い。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教材が、課題解決型学習を想定した構成となっている。課題発見から解決までのプロセスを通して、書写の原理・原則を主体的に学び取るとともに、思考力・判断力等を養えるよう配慮されている。基礎・基本の定着を図るために、2年生以上の全教材に、「たいせつ」「ふり返ろう」を設け、ポイントを整理したり、自己評価ができるようになっている。</li> </ul>		

## 種目（書写）

書名		116
項目	小学書写	日文
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○学習指導要領で、当該学年で学習することと示される指導事項を単元名にし、書写学習の目標を明確にしている。</p> <p>○題材に、子どもの情操や道徳的心情を養う言葉を選定したり、我が国の文化として継承されてきた古典や文学作品を、各教材として設定したりしている。</p> <p>○基礎基本の力が効果的に習得できるように単元構成を工夫している。</p>
特色	内容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領で示されている各学年の指導事項が単元名になっており、学習のめあてが明確になっている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主教材で学習したことを、副教材で他の文字を使って確かめ生かす構成になっている。また、副教材は、毛筆学習で習得した書写力を硬筆に生かすための、硬筆の関連学習が充実している。</li> </ul> <p>＜主体的に学習に取り組む工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考える→確かめる→いかす」の3ステップで学習できるように、主教材では工夫されている。</li> <li>・書き込み欄が設けられており、主体的に学習が進められるようになっている。</li> </ul> <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと書こう」や「広がる学び」のコーナーでは、日常生活や他教科で、書写で学習したことを活用できるような工夫がある。</li> <li>・筆や墨、硯などの資料や、文字の成り立ちに関する資料が提示してあり、書写に興味をもてるようにしている。</li> <li>・古典や文学作品を書く教材として設けられており、伝統文化に親しむことができる。</li> </ul>
	資料	<p>○全体的に淡い色のイラストで、目に優しい。</p> <p>○考える（かえる）、確かめる（かめ）、いかす（花）のイラストで、順序を説明している。</p> <p>○毛筆では、朱墨と墨で書かれた文字と、墨だけでも穂先以外はうすい墨で書かれている文字とがある。</p>
	表記・表現	<p>○朱墨や墨の濃淡で、筆運びや穂先の位置が表記されている。</p> <p>○「もっと書こう」「広がる学び」のコーナーで、学んだ基礎基本を生かす場面を多く設けている。</p>
総括		<p>○各学年の主教材が、「①考える→②確かめる→③いかす」の三段階を踏みながら、学習できるような構成になっている。毛筆教材のあとに、同じねらいをもった硬筆教材を設定し、知識・理解を深められるようにしてある。低学年では、姿勢・持ち方のページを多く、写真を大きくしたり、ポイントを明示するなどしている。</p>

種目（ 社 会 ）

<p>項目</p>	<p>書名 <b>新編 新しい社会</b></p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかわり</p>	<p>○人権や福祉、防災教育に関わる教材を掲載し、日本国憲法の考え方にに基づき、自他の権利を尊重する態度や「自助・共助・公助」を育む視点で構成している。</p> <p>○我が国の国土と周囲の様子について地図で示すとともに、領土の端の島について大きく写真で取り上げている。また竹島等領土をめぐる問題について、写真や文章で詳しく取り上げている。</p>
<p>特 色</p>	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b> ○本文の側注に「ことば」のコーナー、目次や索引に「まなび方コーナー」、主な都道府県、ことがら、地名、人名を一覧化し、ことばを活用して基礎的・基本的な内容について習得できるようにしている。</p> <p><b>〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉</b> ○単元のめあてや小単元の学習問題、本時のめあて、「まなびのポイント」や「まなび方コーナー」により、問題意識をもたせようとしている。マップづくりや話し合い活動、4コマまんが等多様な言語活動を示している。</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b> ○地図や写真、図を大きく掲載し、学習への関心や意欲を高めるとともに、小単元毎に「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」という学習過程で学習を進めさせ、「まとめる」場面で小単元の学習問題を再掲し確認させている。</p> <p><b>〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</b> ○単元導入で、社会や国土全体を概観する学習場面を位置づけ、その後具体的な事例や地域を調べる構成にし、事例を通して社会や国土を理解できるように工夫している。</p> <p><b>〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉</b> ○地域の子どもや大人が地域社会や伝統の継承、保全に取り組む姿を写真資料やコラムによって読み取らせたり、学習問題の提示によって問題意識を高めたりして、社会参画の態度や資質を育もうとしている。</p>
	<p><b>資 料</b></p> <p>○写真やイラストが各ページの上部や見開きに大きく示され、事象を詳しく観察させたり、活用させたりすることを意図している。</p> <p>○選択教材や単元終わりの「ひろげる」で豊富な資料を提示し、比較や発展、補充をさせるようにし、学習の広がりをもたせている。</p> <p>○地図や統計により、災害や社会の様子や変化、影響を示している。</p>
	<p><b>表記・表現</b></p> <p>○人気マンガのキャラクターが登場し、学習の案内役をしている。</p> <p>○資料には、見開き毎に通し番号をつけている。</p> <p>○重要な用語は太文字、難読の文字はルビで示し、文章の行間が十分である。</p> <p>○発達段階毎に、本文の文字の大きさが異なり、見やすくなっている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○特別支援教育に配慮し、カラーユニバーサルデザインにより配色やレイアウト、などに工夫を行っている。ワイド版の体裁で、写真資料が大きく提示されている。各学年見開きで「学習の進め方」を設け、小単元の学習の進め方を示し、問題解決的な学習段階が身につくようにしている。また、6年巻末では、小学校社会科学習を振り返るとともに中学校社会科学習への接続を図っている。</p>

種目（ 社 会 ）

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">小 学 社 会</h1> <div style="text-align: right;">17 教 出</div>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○47都道府県の名称と位置について見開きで示し、世界の主な大陸や海洋を巻末に示している。我が国の国土と周囲の様子について見開きで俯瞰的にとらえるとともに、北方領土や竹島などを写真や地図で詳しく取り上げている。</p> <p>○学習指導要領で選択して取りあげることとされている内容を、複数の中から選んで活用できるようにしている。</p>	
特色	内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○基礎的・基本的なことばについては「キーワード」として欄外に示している。「学びのてびき」を設け、図やグラフの読み取り方やまとめ方などを具体的に示し学習技能を身につけられるようにしている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉</p> <p>○小単元の末尾に、学習を振り返るコーナーを位置づけ、学習で分かったことや考えたことを短文で表現する設問を掲載している。また、キャラクターの吹き出しにより、考えたり表現したりする視点を示している。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○問題解決的な学び方を提示した「学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう」を各学年の最初の単元で示し、学習問題のつくり方や調べ方、まとめ方について解説し、問題解決的な学習を促している。</p> <p>〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</p> <p>○我が国の伝統や文化やそれらの継承に努める人々を様々な事例で紹介するとともに、小単元末の「もっと知りたい」では、意欲や関心に応じてさらに深く学習し、国土と歴史に対する理解と愛情を深めることができるようにしている。</p> <p>〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉</p> <p>○地域や社会、暮らしのこれからについて考え合い表現し合う「深める」を大単元の末尾などに位置づけている。各学年に「持続可能な社会」について考える内容を配置している。</p>
	資 料	<p>○単元の導入部分では、写真や統計資料をより大きく掲載し、児童の興味・関心や問題意識を高め、意欲的に学習に取り組めるようにしている。</p> <p>○歴史上の人物や代表的な文化財について、デザインやマーク等を工夫し、視覚的にわかりやすくなっている。</p> <p>○側注などに多様な資料を配列し、意欲的に学習できるようにしている。</p>
	表記・表現	<p>○同年代のキャラクターが要点をまとめたり、学習活動を示したりしている。</p> <p>○学習問題を左端に示し、見開きで学習できるようにしている。</p> <p>○難読の漢字については繰り返しルビを振っている。</p> <p>○巻末に索引を設け、学習する事柄やキーワードを示している。</p>
総 括	<p>○ワイド版の体裁で、資料を大きく提示している。特別支援教育に配慮し、カラーユニバーサルデザインやレイアウト、表現方法の工夫を行っている。各学年の初めでは、「教科書の使い方」のページを設け、教科書を使いながら主体的に学んでいけるように配慮している。3年上巻巻末には「社会科ガイド」を設け学習技能を具体的に示し、社会科の基礎・基本が学べるようになっている。</p>	

種目（ 社 会 ）

項目	書名 <h1 style="text-align: center;">社 会</h1> <p style="text-align: right;">38 光 村</p>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○児童の防災意識が高まるよう、すべての学年で防災教育の視点を取り入れている。繰り返し学習することで、「防災意識を高めることの大切さ」を実感できるようにしている。</p> <p>○我が国の国土と周囲の様子について地図で示すとともに、領土をめぐる問題をコーナーで取り上げている。</p>
特 色	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b> ○側注に「ことば」として重要語句の解説を加えている。「たいせつ」のコーナーを設けて、本文の学習課題に応じながらも様々な場で活用できる学習方法の具体的に示し、学習技能が身につくようにしている。</p> <p><b>〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉</b> ○小単元の導入は、交流によって学習が深まるよう児童の発言例を中心に構成されており、児童の発達段階に応じた多様な言語活動を提示し、話し合いにつながるようにしている。</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b> ○学習の流れが「ホップ（見つける）、ステップ（調べる・話し合う）、ジャンプ（まとめる・広げる）」で構成され、児童が主体的に課題を追求しながら活動できるようになっている。</p> <p><b>〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</b> ○大単元の導入では、大きく写真資料を示し国土や歴史に関心を高めている。6年の歴史学習の巻頭では歴史研究家の言葉を紹介しながら、なぜ歴史を学ぶのかを考えるようにしている。</p> <p><b>〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉</b> ○地域社会やわが国における人々の社会生活を広い視野から総合的に理解できる単元構成になっている。またコラムを適所に位置づけ、地域の歴史や今とのつながりに関心が高まるように工夫している。</p>
資 料	<p>○各単元のとびらを、単元での学習内容を示唆する投げかけと資料・写真で構成し、学習の見通しがもてるようにしている。</p> <p>○「ことばのコーナー」を設けて重要語句を解説し、基礎的な知識・技能が確実に身につくようにしている。</p> <p>○国宝や世界遺産について記号で示し、詳しく解説されている。</p>
表記・表現	<p>○キャラクターが既習事項の比較・関連付けを図るヒントを示している。</p> <p>○学習問題を左側に示し、見開きで学習できるようにしている。</p> <p>○難読の漢字にはルビを振っている。</p> <p>○巻末に索引を設け、学習する事柄を一覧で示している。</p>
総 括	<p>○5・6年それぞれ1巻構成とし、国土と産業を関連づけたり、各産業を比較したりして、学習を深められるようにしている。巻頭の「ようこそ社会科へ」や教科書の使い方のページでは、学年段階に応じ児童が主体的に問題解決学習に取り組めるように促している。誰もが安心して学べるよう、学習の順序や写真、カラーユニバーサルデザインなど特別支援教育への配慮をしている。</p>

種目（ 社会 ）

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">小学社会</h1> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかわり</p>	<p>○3・4年下巻巻頭では、地図の使い方や、地図に親しむ内容を取り入れている。</p> <p>○先人の働きや文化遺産について、写真や図説資料で豊富に示している。</p> <p>○世界の主な大陸や海洋を衛星写真とともに示している。都道府県の名称と位置について白地図で示し、学習の進捗とともに塗りながら確かめられるようにしている。北方領土や竹島などを写真や文章で詳しく取り上げている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○その単元を学ぶ上で不可欠な基礎的・基本的な用語について「キーワード」として欄外に示している。文章だけでなく、イラストや写真も示し視覚的にとらえられるようにしている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉</p> <p>○「考えるヒント」で資料を読み取る視点を与え、予想が生み出させるようにしている。資料の読み取りの技能を「見る・調べる」「読み取る」「考える」のステップで示し、資料を活用し、思考・判断できるように視点を示している。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○同世代のキャラクターが学習問題を示すとともに、学習問題に対する答えを示し、見通しをもって、問題解決的な学習を進められるようにしている。大単元の初めには「学習のまど」により学習を進めていく上での視点を示している。</p> <p>〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</p> <p>○身近な地域の先人の業績や伝統、文化の継承に努める人々について写真や文章を交え様々な事例を紹介するとともに、国土の様子や環境について、写真や図で示している。</p> <p>〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉</p> <p>○地域住民の活動や未来の日本社会、地域社会について「大きくジャンプ」のページで発展的に掲載することにより、多角的多面的に社会をとらえ、よりよい社会の形成に参画していくことのできる態度や資質を育もうとしている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○単元の導入部分では、さし絵や写真、統計資料をより大きく掲載し、児童の興味・関心や問題意識を高め、意欲的に学習に取り組めるようにしている。</p> <p>○「学びのてびき」のコーナーが設けられ、具体的な学び方を示し、主体的に学習できるようにしている。</p> <p>○側注などに多様な資料を配列し、意欲的に学習できるようにしている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○見開きで学習できるように、学習問題を左、答えを右の側注に示している。</p> <p>○難読の漢字についてはルビを振っており、文章の行間が十分ある。</p> <p>○巻末に索引を設け、教科書に出てきた事柄や国名を示している。</p> <p>○同年代のキャラクターが要点をまとめたり、学習活動を示したりしている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○カラーユニバーサルデザインやワイド版の体裁で、資料を見やすく大きく提示している。各学年の初めでは、「問いの旅」のページを設け、教科書を使いながら主体的に学んでいけるように教科書の使い方を示している。防災・安全教育に関わる点について多くのページをあて、自然災害時における地方公共団体や地域の人々の「防災・減災」に関する取組が詳しく説明されている。</p>	

種目 ( 地図 )

項目 書名	新編 新しい地図帳 <span style="float: right;">2 東書</span>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○広い視野からわが国の国土を見渡す地図を複数配置し、日本の位置および範囲、領土を正確に捉えられるようにしている。</p> <p>○表紙裏や一部拡大地図により、国土の領域や都道府県の名称と位置、世界の主な大陸や行政区域、海洋について示されている。特に南西諸島の領域を大きく提示している。世界地図と地球儀の活用について、特設ページを設けている。</p>
特色	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <p>○凡例、さくいんの使い方や、方位、縮尺、地形表現について解説し、地図の基本的な読み取り方を「地図帳の使い方」として巻頭で複数ページにわたり示している。関東地方や沖縄県を例に取り上げ、県や地域の様子の読み取り方を示している。</p> <p><b>〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉</b></p> <p>○各種統計資料が豊富に示され、地域の特徴が比較できるようになっている。また、キャラクターの吹き出しにより、資料を見たり判断したりする視点を具体的に与えている。特定の地域や大都市の日本地図上の位置を示し、地理的位置を認識させようとしている。</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <p>○基本図の読み取り方、地図の約束事、使い方などをキャラクターが吹き出しを使い解説している。「地球儀を使って調べる」のコーナーでは、地球儀を活用して活動する写真を示しながら、方位や距離、大きさや形の調べ方を具体的に示し、主体的な学習がすすめられるようにしている。</p> <p><b>〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</b></p> <p>○わが国の世界自然遺産や世界文化遺産を写真や解説で紹介しながら地図上に位置を示している。また、旧国名とともに旧国名のついた食べ物や地域の祭りをイラストで紹介している。京都や奈良の中心部について寺社等を地図上にイラストで示し、国土や歴史に関心を高めるようにしている。</p>
	<p><b>資 料</b></p> <p>○索引では、地名の種類が示され、記号により分類されている。</p> <p>○表表紙・裏表紙の折り込み地図により、国土の領域や自然災害を示している。</p> <p>○目次に学習する事柄や都道府県の区分、都道府県の形の特徴が示されている。</p> <p>○地図とともに、図や写真、イラスト等が同じページに掲載され、視覚に捉えやすく、資料としての使いやすさを追求している。</p>
	<p><b>表記・表現</b></p> <p>○国内外で50万分の1・100万分の1の縮尺と同じ図法で示されている。</p> <p>○県名や市町村名、地名表示が大きく表示されるとともにルビを使用し、国境や都道府県境等の色や線の太さが明瞭で判別がつきやすくなっている。</p> <p>○凡例や地図上で、山地や海が縮尺と地形により細かく段彩されている。</p>
<b>総 括</b>	<p>○A4版のワイドな紙面で、文字や資料が大きく表示されている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮した色使いで見やすくなっている。地図帳の使い方が巻頭にあり、段階を追って地図の見方が身につけられるようになっている。その中で、地図記号の他、方位や縮尺などについて詳しく説明している。後半に資料ページや自然災害を考えるコーナー等をまとめて設けている。「さくいん」や統計資料には文字間や行間にゆとりがあり、見やすくなっている。</p>



種目 ( 地図 )

項目 書名	<h1 style="text-align: center;">楽しく学ぶ小学生の地図帳</h1> <div style="text-align: right;"> <span style="border-bottom: 1px solid black; padding: 0 10px;">46</span>            帝国         </div>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○我が国の東西南北端、排他的経済水域、近隣諸国の名称・位置・国旗等、日本とその周辺の概要が写真と共にとらえられるようになっている。</p> <p>○国土や周辺国を衛星写真や地図により俯瞰している。都道府県の名称と位置を作業をおしながら確認できるようにしている。地球儀を使って距離や方位を調べる手順を具体的に示している。</p>	
特色	内容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <p>○実際の地形をとらえた写真と比較しながら、「地図のなりたちとやくそくごと」により地図に親しめるようにしている。「地図帳の使い方」のページを複数設け、凡例、さくいんの使い方、方位、縮尺、地形表現等、地図の基本的な読み取り方が段階的に身につくようにしている。</p> <p><b>〈思考力、判断力、表現力を育成する工夫〉</b></p> <p>○地形、気候、産業や歴史といった視点ごとの資料が日本地図とともに見開きページで示され、複数の資料を比較することができるようにしている。「トライ」やキャラクターの吹き出しにより資料を比較したり考えたりする視点を与えている。巻末で防災マップ作り取り上げ、地図を使った表現方法を例示している。</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <p>○「チャレンジ」「クローズアップ」「トライ」といったコーナーが、地図のページの端に記載され、自ら考え調べようとするための工夫がみられる。3ページ大に大きくした巻末の世界地図、各国のあいさつ、世界の祭りの写真などを掲載し、児童の異文化理解に向けた世界への関心を引き出すようにしている。</p> <p><b>〈わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</b></p> <p>○わが国の歴史の主な出来事と関係する場所を示したり、旧国名と「薩摩いも」など旧国名のついた特産物のイラストを示したり、世界文化遺産の写真と位置を示すなどしている。また、各都道府県の「有名なもの」を取り上げ、国土や歴史に関心を高めるようにしている。</p>
	資料	<p>○索引では、地名が色や記号によって分類されている。</p> <p>○地方図で、その地方の防災に関する情報を詳しく取り上げている</p> <p>○表紙の裏に都道府県区分の地図があり位置や名称を確認しやすくしている。</p> <p>○「私たちの地球」というコーナーには、六大陸と三海洋が一目で分かるように示されており、地球儀を使って距離や方位を調べる手順が示されている。</p>
	表記・表現	<p>○日本のほとんどの地方を100万分の1の縮尺で表し、市街地・田・畑等がわかる土地利用表現と地形の分かる高さで色分けされている。</p> <p>○地名表記は国語で学習する書体の漢字を使用し、ふりがなをつけている。</p> <p>○地図上で、陸地が6段階、海洋が7段階に統一して段彩されている。</p>
総括	<p>○各ページの横に、「日本列島」「九州地方」「関東地方」「世界」といったインデックスを設け、どこの地方を表している地図なのか明確にしている。ほとんどの地方を同じ100万分の1の縮尺で表しており、都道府県が同縮尺で比較できる。地方別の地図では、その地方の防災に関する情報などを取り上げている。巻頭では段階を追って地図の使い方が身につけられるようになっており、地図のやくそくごととして、方位や地図記号などを分かりやすく説明している。</p>	

種目（算数）

項目 書名	新編 新しい算数 <span style="float: right;"><math>\frac{2}{}</math> 東 書</span>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「教科書の使い方」等を例示して、問題解決への取り組み方を知らせ、数学的な真理を追究していく学習態度が身に付くようにしている。</li> <li>○児童が考えを表現する場面を適切に設けて例示することで、思考・表現の活動を促して創造性を培い、個々の価値を尊重できるようにしている。</li> <li>○算数と生活の関連を実感し、算数を学ぶよさを分かるようにしている。</li> </ul>	
特色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どものイラストと吹き出しを使い、子どもの言葉で授業を進めていけるようまた、算数的活動を重視し問題解決的な授業展開も取り上げている。</li> <li>○テープ図、数直線等が発達段階に応じて系統的に取り扱われており、子どもが問題解決に活用できるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題、問題のそばに、自力解決を助けるための吹き出しがあり、子どもの理解を助けている。</li> <li>○「算数マイノートをつくろう」では、発達段階に応じて記述例が示してある。自分の考えを表現することを中心に思考力、表現力を高める工夫がされている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前学年までの内容を「ふりかえりコーナー」にまとめ、子どもが自力で自分の理解状況に応じて内容を確認めたり、調べたりできるように工夫されている。</li> <li>○「考えよう伝えよう」を設け、式や図等の数学的な表現を用いて算数の特性を生かした言語活動例を示している。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○統計資料等を利用して社会的な事象を数学的に解釈し、算数が日常生活に役立つことを児童が実感でき、活用する力を高めている。</li> <li>○単元の導入に日常生活に関連した内容を取り上げ、学習内容をより身近に実感できるように工夫している。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鮮明な写真が数多く掲載されていることが特徴で、日常生活や社会的な事物に関わることが多く、とても分かりやすい。</li> <li>○挿絵、写真、図表等が多く使用され、子どもが課題をとらえやすいように適切な位置に配置してあり、必要な数字も分かりやすく表示してある。</li> <li>○「ふりかえりコーナー&amp;さく引」では、既習の内容がまとめである。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもに親しみやすいマークやイラストを多く使用し、楽しく学習が進められるように工夫されている。また、重要項目は枠囲みされていたり、色分けだけではなく形でも分けられていたり視覚に訴える工夫がなされている。</li> <li>○立体図形を表現する際、空間を感じられるような図になっている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に色彩が豊かで明るい紙面になっていて、写真を多く扱っている。</li> <li>○練習問題等も量が豊富であり、子どもの力に合わせて力をつけられるように工夫している。課題や練習問題のそばに考えるための補助的な質問もあるので、子どもの思考の助けになっている。</li> <li>○6年生は、上・下合本となり、中学校の教科書と同様になっている。</li> </ul>	

種目 ( 算 数 )

項目 書名	<h1 style="text-align: center;">新版たのしい算数</h1> <div style="text-align: right;"> <math>\frac{4}{}</math> 大日本         </div>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○系統的に既習内容を配置して、基礎的な・基本的な知識・技能を確実に身に付けられるよう工夫されている。また、適用問題等で定着を図っている。</li> <li>○発達段階に応じた系統性のある導入課題が用いられ、その解決のための式や考え方を自分の言葉で教科書に書き込むよう工夫され、見通しをもち、筋道を立てて考え、思考力・表現力を高めようとしている。</li> <li>○課題提示、考える、話し合う、まとめる、考え方を深める問題等算数的活動を通して問題解決能力を高める工夫をしている。</li> </ul>	
特色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○つまずいた時に関連する既習内容が配置され、振り返りながら学習を進めることができるよう工夫している。</li> <li>○数量、図形など基礎的・基本的な内容の習熟を図るため教科書に書き込みながら学習を展開させている。間違いやすい項目は詳しく説明がされている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決型の授業が展開しやすいように、問題提示後ページをめくらないと答えが見えないように工夫してある。</li> <li>○毎時間「ふりかえろう」があり、自分の考え方、友達の考え方と比べながら振り返りながら学習し、思考力等を育むよう工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習意欲を高めるとともに学習全体を見通し、子供が主体的に学習できるよう単元の導入を充実させている。</li> <li>○課題等のそばに見通しを持たせるよう補充的な質問があり、子供が主体的に学習を進められるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題等に他教科や学校生活、身の回りの生活と関連した教材を取り上げ、進んで学習内容を生活に活用できるように工夫されている。</li> <li>○巻末に「環境と生活」「国際」「歴史」「パズル」「体験」等、生活や社会事象に関する問題があり、数学的思考を生かそうとする意欲を高めている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分かりやすいイラスト等を多く使用し、課題等の理解を助けている。</li> <li>○全学年1冊ずつの教科書である。巻頭には教科書の使い方、算数の学び方、巻末には補助教材が綴じ込んである。</li> <li>○学習内容のイメージを広めるための図や写真が適切に使われている。</li> <li>○色彩を抑えた紙面で、すっきりとして分かりやすい。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供に親しみやすいマーク、イラスト等を使用している。</li> <li>○「時速・分速・秒速」「小数第一位」など新しい用語や難しい漢字にルビがふられ、問題の意味を正確に把握し学習しやすくしている。</li> <li>○分かりやすいマークや記号が用いられ、学習を進めやすくしている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的にすっきりとした紙面でわかりやすい。</li> <li>○問題量が多く、基礎的・基本的な内容を身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>○生活に関連する内容を多く取り入れられていて、子供の興味・関心を高める工夫をしている。</li> <li>○全学年で一冊ずつの教科書である。</li> </ul>	

教科（算数）

<p>項目</p>	<p>書名 <b>みんなと学ぶ小学校算数</b> <span style="float: right;">11 学 図</span></p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○身近な導入課題を提示して、学習に興味・関心をもたせ、順序立てて見通しをもち、筋道を立てて考え、基礎的・基本的な内容の定着を図らせている。 ○地域に伝わる伝統的な行事や産物、外国の人々や建物を扱うことによって、郷土を愛する心や平和と発展について関心をもつように配慮している。 ○家庭での学習を想定し、教科書の使い方が示されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt; ○課題解決の場面では、考え方を教科書のマスを埋めながら、授業を展開させ、基礎的・基本的な内容の習得を図っている。 ○正確な計算のアルゴリズムを身に着けるために、計算の仕方を丁寧に解説している。作図のスキルがスモールステップの連続写真で説明されている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt; ○課題の意味が図や表に表わされ、視覚的に問題をとらえることができるように工夫されている。 ○ユニバーサルデザインに配慮した図や表になっている。また、吹き出しに考えるポイントや間違いやすい注意事項が記載されている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt; ○単元ごとに準備問題が配置され復習に役立たせている。また、「確かめよう」、「チャレンジ問題」、「力だめし」など基礎問題から発展問題へと習熟度に応じた様々な問題がある。 ○「学びの手引き」で課題解決までの展開がよりていねいに記述されている。</p> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt; ○チャレンジ～算数を使おうコーナーを設け、単元で学習したことを活用して日常の課題を解決できるように工夫されている。 ○身の回りの環境に関する問題場面が設定されており、算数で学習したことを生活に活用しようとする態度を育てる工夫がされている。</p>
	<p>資料</p> <p>○6年生では、別冊で「中学校へのかげはし」が新設されている。小学校で学習した内容を復習するとともに、中学校への学習にスムーズに移行できるような試みがなされている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○児童に語りかけるような表現が多い。 ○図や表・写真など学習課題に即したものを適切に使い、学習効果を高めている。色遣い、行間、文字の大きさ、ルビの使用などユニバーサルデザインに基づいたつくりをしている。</p>
<p>総括</p>	<p>○算数的活動を豊富に取り入れており、児童の興味関心を喚起し、主体的に学習できるように工夫されている。 ○算数と生活のかかわりを大切にしており、日常場面から単元の導入を図るよう工夫されている。 ○5年生と6年生が、上・下合本され、年間一冊となっている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">小学算数</h1> <p style="text-align: right;">17 教出</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題やコラムを豊富に設け、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度が育てられるように配慮し、豊かな情操と道徳心が養われるようにしている。</li> <li>○子どもの主体的な学習を重視し、自主自立の精神を養うようにし、職業・生活との関連も重視し、学習を実生活に活用する教材を数多く取り入れている。</li> <li>○問題解決の場面で、自分と友達の考えを比べ高める場面を取り入れている。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p style="text-align: center;">内容</p> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前学年までの既習事項を巻末の「学びのマップ」にまとめ、振り返りながら学習を進められるようにし、ページを表示して分かりやすく工夫してある。</li> <li>○作図の技能を確実に定着できるように、連続写真で分かりやすく視覚に訴える工夫がなされている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「算数で使いたい考え方」として子どもの言葉で数学的な考え方を示し、子どもが学習で使っていけるようにしている。</li> <li>○考えを練り上げる時のヒントとして、学習のねらいに迫る話し合いができるように補助質問を吹き出しを使って示している。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「算数ワールド」では、問題解決の進め方やノートの書き方等、子どもが主体的に学習を進めるための手立てを紹介している。</li> <li>○高学年の各単元末には発展的・総合的な見方を育てる「広がる算数」を設け、子どものもっと学びたいという意欲を高める工夫がしてある。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の最後に活用問題「学んだことを使おう」を設け、実生活に活用することで算数を学ぶよさを実感できるようになっている。</li> <li>○学年末には複数の学習内容にまたがる総合的な活用問題を設け、筋道を立て考え表現する力を伸ばし、PISA型の学力を育てる工夫がしてある。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あまり写真や挿絵を多用せず、子どもが考えるために必要なものだけを示している。</li> <li>○イラスト、図表等がすっきりと分かりやすく使用されている。色使いも落ち着いた色合いになっている。</li> <li>○「算数ワールド」「学びの手引き」が充実し、他教科との関連を図っている。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項を生かして考えるどんちゃんと、発展的な見方を促すぐりちゃんの2種類のキャラクターを設け、子どもの思考のヒントになっている。</li> <li>○子どもに分かりやすい用語・記号が使用されていて、学習を進めるパターンが理解しやすくなっている。4コママンガをまとめて利用している。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的な紙面がすっきりとしていて読みやすく工夫されている。</li> <li>○子どもがとつきやすいように、イラストが多く使われている。</li> <li>○課題や問題のそばに、子どもの考えを促すための補助的な質問があるので、自力解決が難しい子どもにとってのヒントになっている。</li> <li>○5年生と6年生が、上・下合本となり、年間一冊となっている。</li> </ul>

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;"><b>わくわく 算数</b></p> <p style="text-align: right;">61 啓林館</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○発達段階に即して既習事項を活用して、系統的に数量や図形についての基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせるよう図られている。</p> <p>○身近な課題等が提示され、問題解決の場面では、式・図言葉等を用いて説明され、数学的な思考力・表現力や数理的な処理能力を伸ばす工夫がされている。</p> <p>○豊富な資料や切り取り教具が配置され、作業的・体験的な活動を通して算数への興味・関心を高めるとともに、算数的活動の楽しさや有用性を理解させている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○前学年までの既習事項が巻末にまとめてあり、練習問題のそばに「何年生のどの単元に関連ある内容なのか」を示し、振り返れるように工夫されている。</p> <p>○各単元末の「たしかめましょう」「ふりカエル」で既習事項を示し、反復練習を通して、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る工夫をしている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○自分の考えを説明する等の算数的活動を多く設定し、順序立てて説明する際に「わかりやすく説明しよう」で取り上げ、表現力等の育成を図っている。</p> <p>○課題解決する場面では、アルゴリズムに基づいて考えさせ、つまづいた時は「ふりかえり」やヒントが随所に与えられ、思考力を高める工夫がされている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○各学年「よみとる算数」を設定し、文章、図、グラフ等から子供が主体的に情報を選択して問題を解決できるように工夫している。</p> <p>○準備問題が配置され、新単元の学習への興味・関心を高めたり、「復習問題」「もっと練習問題」等、主体的に学びやすいように随所に配置されている。</p> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <p>○「学びを生かそう」「さがしてみよう」では、既習内容を生かしたり、実生活に関連した問題やコラムを載せている。</p> <p>○「算数実験室」を設定し、学んだことを実験によって確認し、実感を伴う理解ができるようにしている。</p>
	<p>資料</p> <p>○各学年のまとめ（算数パスポート）が巻末にまとめられ、1年間に学んだことを振り返ることができる。さらに、巻頭には「教科書の使い方」、巻末に算数資料集があり、学習効果を高めている。</p> <p>○挿絵、写真、図表等が多く使用され、子供が課題を捉えやすいように適切な位置に配置され、必要な数字も分かりやすく表示してある。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○図、表などは見やすい大きさと表わされている。各授業の「まとめ」はゴシック体で枠付きで表記されているため見やすい。挿絵的に使われている写真は課題内容を要約したものとなり、学習への理解や興味を高めている。</p> <p>○立体図形を表現する際、空間を感じさせるような図になっている。</p>
<p>総括</p>	<p>○練習問題等も量が豊富で、子供の力に合わせて学力が身に付けられるよう工夫している。また、5年生と6年生が上・下が合本され一冊になっている。</p> <p>○鮮明な写真が数多く掲載されていることが特徴で、日常生活や社会的な事物の関わるが多く、とても分かりやすい。</p> <p>○課題等のそばに考えるための補助質問等があり、子供の思考を補助している。</p>

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">小学算数</h1> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○問題解決の場面では、話し合いを通してよりよい考えを作り上げていく展開が重視されている。</p> <p>○「どんなもんだいかな」、「考えよう」、「学び合おう」、「まとめよう」と学習の流れを明確に示し、基礎的・基本的な知識と技能を身に付けさせるとともに、数学的思考力を高めようとしている。</p>
<p>特色</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○身近な導入課題からステップを踏んで学習する流れの中で、基礎的・基本的な知識や技能を習得させようとしている。</p> <p>○「まちがしやすい問題」子どもたちが苦手とする内容へ対応できるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○課題解決する場面で、ページの右隅に課題解決のためのヒントが適切に与えられ、思考力・表現力・判断力を高めようとして工夫されている。</p> <p>○数学的な見方・考え方を身に付けるために、複数の単元や領域を結び付けた内容を用いて、理由や方法などを説明させる記述式の問題を扱っている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○算数マイトライのコーナーが上下巻末にあり、基本的な内容から発展的な課題へと主体的に学習しようとする内容となっている。</p> <p>○「単元アプローチ」では学習の動機付けや素地づくりを行うために見開きの構成になっている。</p> <p><b>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <p>○分け合うなど、日常にある事象を課題として多く取り入れ、興味・関心をもち、課題解決に取り組むことができるようにする。</p> <p>○「いち・に・算活」では、作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活かす活動が充実している。</p>
	<p><b>資 料</b></p> <p>○巻頭に「さあ、算数の学習を始めよう」を設定し、該当学年の学習の進め方を示している。巻末の「算数マイトライ」では、補足的な内容と応用的・発展的な内容の問題がバランスよく配置されている。</p> <p>○キャラクターを活用して、子どもの思考をより深めるような工夫をしている。</p>
	<p><b>表記・表現</b></p> <p>○課題一つ一つの内容を図や表などで表現し、考えやすくしている。教科書を開くと見やすいレイアウトになっている。</p> <p>○学習を進めるうえで必要な数学术語や説明については、書体を変えて表記している。</p>
<p><b>総 括</b></p>	<p>○算数的活動が充実しており、数学的な思考力・表現力を高めるような工夫がなされている。</p> <p>○個に応じた学習に取り組みやすいように工夫され、基礎的・基本的な知識、技能を確実に習得できるように工夫されている。</p> <p>○A B版のため、広い誌面を活用して、より見やすい工夫がなされている。</p>

項目 書名	新編 新しい理科 <span style="float: right;">2 東書</span>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○問題解決の力を確実に身に付けられるように、他教科との関連も考慮して単元配列を考えたり、内容を2つの単元に分けたり、児童に理解しやすい実験材料を使うなどの内容の取扱い方を工夫している。</p> <p>○自然のすばらしさを感じさせる写真や教材を豊富に取り上げ、自然を大切に育てようとしている。</p>
特色 内容 資料 表記・表現	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b>          ○観察、実験の結果と、その結果からわかることを区別して示してある。さらに、問題に対応した答えを簡条書きでわかりやすく示してある。「観察、実験」と「結果」「まとめ」を見開きにならないようにしてある。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b>          ○言語活動を活発に行えるように、吹き出しの中に考える糸口や手立て、視点を明示している。思考力・表現力を高めるために、導入の内容や身近な生活事象を説明する場面を設定している。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b>          ○整理・考察・発表の場面で、ノートや記録カードの例、板書の例を豊富に取り上げて、児童に取り組みやすくしている。</p> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</b>          ○観察、実験の結果をグラフや表に整理したり、クラス全体の結果をまとめたりして、考察できるようにしてある。また、整理、考察、発表の場面では、ノートや記録カードの例や板書の例を豊富に取り上げている。</p> <p><b>&lt;実感を伴った理解を図るための工夫&gt;</b>          ○学年や単元をまたがった内容について、知識をまとめたり活用したりして学習のつながりや理科の有用性を理解しやすくしている。全国学力・学習状況調査の活用問題の主な枠組みに基づいた問題を掲載している。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を養うための工夫&gt;</b>          ○ノートの書き方や話し合いの仕方など、言語活動に関わる内容を各学年に掲載して、記録や話し合いの方法が身に付くよう配慮してある。</p> <p>○児童の人権に配慮し、性別、国籍、障がいの有無に関わらず、児童が協力し合って、楽しく活動を行う様子を掲載している。</p> <p>○実物大の写真や拡大図、イラストが効果的に掲載されている。</p> <p>○巻末には「理科の調べ方を身につけよう」として、器具の扱い方等が安全の視点を中心にまとめている。</p> <p>○読みやすく文章の意味を理解しやすいように、単語や文節で改行している。小さな文字はゴシック体を用いて見やすくしている。</p> <p>○ふりがなには、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
総括	<p>巻頭で問題解決の流れを児童に理解しやすいように説明している。学習過程をラインを使って表し、さらにタイトルを大きく示してある。単元末のまとめでは、資料が豊富に掲載されており、観点別評価にも役立つ問題のページを設定してある。</p>



項目	書名 <b>新版 たのしい理科</b> <span style="float: right;">4 大日本</span>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○見通しをもって学習に取り組み、問題解決能力の育成を図るために、学習の過程を工夫したマークを使って示している。科学的な見方や考え方の育成のために、考察場面として、「考えよう」「確かめよう」「学んだことを生かそう」を設定している。</p> <p>○単語や文節で改行して文章の意味を理解しやすくして、多様な児童の特性に配慮をしている。</p>
特色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○「わかったこと」と科学用語の定義、関連した大切な内容を枠囲みして、重要な内容であることを明示している。器具の使い方を「観察・実験」と同じ見開き紙面に配置してある。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「考えよう」の場面で科学用語や科学的な概念を使用して考えたり説明をさせたりしている。「予想しよう」の場面で自分の考え方を伝えたり、人の意見を聞いたりする情報交換の場面を設定している。また、観察カードやノート例などを数多く掲載している。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○学習意欲を喚起するために、動物・植物シートやシール、星座シートなどを付録としている。また、資料で科学館などの施設を紹介したり、科学者の言葉を掲載したりしている。</p> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</b></p> <p>○「問題マーク」「予想マーク」「計画マーク」「観察・実験マーク」「考察マーク」「結論マーク」などを使って、既習事項や生活体験をもとに予想や仮説をもち、観察・実験の計画や方法を考えて学習に取り組めるようにしている。</p> <p><b>&lt;実感を伴った理解を図るための工夫&gt;</b></p> <p>○実感を伴った理解ができるように、児童の創意と工夫の伴う創造的な活動を取り上げている。科学者や技術者の功績などを資料で積極的に紹介している。自然災害の危険性や災害を防ぐ工夫を理解して、災害時に自分が取るべき行動を考えることができるように配慮してある。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を養うための工夫&gt;</b></p> <p>○考察場面や単元末で、科学用語や概念を使用して考えたり説明したりする学習を通して、科学的な見方や考え方を高めようとしている。</p>
	<p><b>資料</b></p> <p>○問題解決の各過程を大きな文字で示し、学習の流れが一目でわかるようなレイアウトにしている。</p> <p>○配色や色に関する表現に配慮して、すべての児童が支障なく学習できるようにしている。</p> <p>○関連する中学校の内容を「発展的な学習」として取り上げてある。</p> <p>○「別の○○」として、学習を深める別の方法等が掲載されている。</p>
	<p><b>表記・表現</b></p> <p>○見やすく読み間違いにくい活字を使用している。</p> <p>○様々なマークを使い、さらにマーク類には意味が一目でわかるように文字が付けてある。</p>
<p><b>総括</b></p>	<p>巻頭に問題解決能力を踏まえた学習の仕方を「理科の学び方」として紹介しており、各学年で問題解決の活動を無理なく繰り返すことができるように配慮してある。自由研究についても問題解決の過程の具体例を紹介しており、参考にしやすい。</p>

種目 ( 理科 )

項目 書名	みんなと学ぶ 小学校理科 <span style="float: right;">11 学 図</span>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容に関わる写真や図を提示したり、児童が活動している写真等を提示したりすることで児童自らが意欲的に問題に取り組めるよう配慮している。</li> <li>○ページの脇に活動の順序が示されていて、児童が見通しをもって、学習できるよう配慮されている。</li> <li>○単元末のまとめでは問題に取り組ませ、分からなかった場合はどこに戻ればいいのかを示して振り返りが行いやすいように配慮している。</li> </ul>	
特色	特 内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年とも、実験器具の使用方法等が巻末に掲載されていて、確認しやすくなっている。また、重要語句については太字表記され、注意を引くようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察カードを書く際には、絵だけでなく写真を使ってまとめる方法も掲載されていて表現方法の多様性が示されている。また、教科書紙面と連動させたノート例を充実させ、自分の考えなどのまとめ方を明示している。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクターに発言させるなどして、児童が主体的に思考できるような工夫をしている。また、どの単元も疑問、予想、観察・実験、結果、考察、まとめの流れを踏襲し、紙面の両サイドに示されている。</li> </ul> <p>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○紙面の両サイドに学びの流れが表示されているので、次に何を行うのか見通しをもちやすくなっている。また、単元のはじめに、「思い出してみよう!!」のコーナーがあり、既習事項との関わりを明示している。</li> </ul> <p>&lt;実感を伴った理解を図るための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活や社会とのかかわりを示して学習内容に関連した資料を掲載している。このことにより科学が生活や職業と関わっていることが理解できるようにしている。</li> </ul> <p>&lt;科学的な見方や考え方を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の最初に今まで学習した内容を振り返るコーナーを設けて系統を意識させている。また、考察の視点を示してどのように考察を行えばよいのかわかるような工夫がみられる。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の巻末に学習方法を明示した「考えよう・調べよう」を掲載している。</li> <li>○「読み物」のページやコーナーを多く掲載している。</li> <li>○資料写真を多く掲載している。</li> <li>○資料として、科学者など科学史に関する資料を多く取り上げている。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題文は地の文と異なり、青い文字で示されている。</li> <li>○本文は敬体で記され、重要語句は太字で記されている。</li> <li>○マークを統一して一目でわかるよう工夫されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○器具の使い方等、複数の学年にまたがって繰り返し提示して、定着を図る工夫がみられる。</li> <li>○観察・実験で安全に対する配慮が必要な場合は、赤文字で「きけん」と記している。</li> <li>○防災に関わる項目ではマークをつけて明示をし、「まず自分の命を守ることが一番大切である」という観点から構成されている。</li> </ul>	

種目 ( 理科 )

項目 書名	未来をひらく 小学理科 <span style="float: right;">17 教 出</span>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大きくきれいな写真や図を用いて自然事象を提示したり、学習の動機付けとなる活動「やってみよう」を設けたりして児童が興味関心をもてるように配慮されている。</li> <li>○巻頭には前学年で学んだ内容を示したり、学習過程を明示したりし、系統的に学んだり主体的に問題解決したりできるよう配慮されている。</li> <li>○児童が習得すべき基本的な知識は「わかった」マークで明示したり、学習の後に「学んだことを使おう」を設けたりして実感を伴った理解のために配慮されている。</li> </ul>	
特色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に前学年で学んだことが示されていたり、キャラクターが観察・実験の留意点を示していたりする。また、「きけん」マークで安全に配慮するとともに、「確かめ」のページで、基礎・基本の定着を確認できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「はてな？」など思考の流れを分かりやすく示したり、話し合う場面を吹き出しで示したりしている。また、ノートを使い方の例示があり表現力が育成されるような構成になっている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の始めには美しく大きな写真で児童の関心を引きつけたり、単元によっては「やってみよう」で児童の興味を引きつけたりしている。また、巻頭には「学習の順序」が示されていて、児童の主体的な学びを助けている。</li> </ul> <p>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「はてな？」から「わかった」まで問題解決の過程が示されていたり、観察・実験で安全に注意するところを「きけん」マークで示したりして、見通しをもって観察・実験が行えるように構成されている。</li> </ul> <p>&lt;実感を伴った理解を図るための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容と関連した日常生活の事例を「資料」として紹介したり、学習内容が社会の発展に寄与している事例を紹介したりして、学びの価値を理解したり実感したりできるように構成されている。</li> </ul> <p>&lt;科学的な見方や考え方を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の始めには、今まで学んだことやこれから学ぶこととの関連がわかる工夫があったり、大きく見やすい写真や図を使ってあり科学的な見方や考え方を養う工夫がされている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○横に広いA B版で大きい写真やイラストを豊富に掲載している。</li> <li>○巻末には、図鑑としても使える資料性の高い読み物が掲載されている。</li> <li>○単元末の「確かめ」は、書き込み式になっているとともに、問題に関連するページが明示されている。</li> <li>○観察・実験について、児童が行っている写真やイラストが多く、児童主体で学習を進める意図が読める。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の巻頭には、問題解決の過程を示した学習の順序が掲載されている。</li> <li>○「はてな」はピンク色、「わかった」はレモン色に統一されている。</li> <li>○全学年とも敬体で記され、重要な語句は太字で示されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の巻頭に、キャラクターを使って問題解決の流れを示し、問題解決能力の育成を図る内容となっている。また、すべての単元の始めには、大きな写真を掲載し、児童の興味関心を高めている。さらに、各単元の始めには、前学年で学習したことやこれから学習することとの関連が示されている。</li> </ul>	

種目（理科）

書名		61
項目	わくわく理科	啓林館
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○学習内容に関わる写真や図を提示したり、児童が活動している写真等を提示したりすることで児童自らが意欲的に問題に取り組めるよう配慮している。</p> <p>○巻頭に学習の進め方を示し、見通しをもって、観察・実験等に取り組めるように工夫している。</p> <p>○単元末に「ひろげよう」のページを設け、実生活と関連した内容を扱うなどして、実感を伴った理解のための工夫を行っている。</p>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <p>○単元の終わりに1ページを確保して振り返りを行うようになっている。また、重要語句は太字になっており、さらに下線も引かれていて注意を促すような工夫がみられる。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○観察の記録の仕方やノートのとめ方など、どの点に気をつけて行ったらいいのかが記載されている。「わくわく理科プラス」を使って書く活動を取り入れ表現力の向上を促す工夫がみられる。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○キャラクターに発言させるなどして、児童が主体的に思考できるような工夫をしている。実験の場合、手順等と結果や考察を別ページに掲載して、児童が自ら考えるような工夫をしている。</p> <p>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</p> <p>○巻頭に学習の進め方を示し、見通しをもって、観察・実験等に取り組めるように工夫している。また、観察や実験のページには矢印で流れを明示し、見通しをもたせる工夫がみられる。</p> <p>&lt;実感を伴った理解を図るための工夫&gt;</p> <p>○単元末に「ひろげよう」のページを設け、実生活と関連した内容を扱って、実感を伴った理解のための工夫をしている。また、5、6年の単元末に日本の科学技術と実社会のつながりを示し、生活場面と理科のつながりを示している。</p> <p>&lt;科学的な見方や考え方を養うための工夫&gt;</p> <p>○「わくわく理科プラス」の中で、既習事項を書き込ませる欄があり、学習内容の系統を意識させる構成になっている。また、「科学の目で見てみよう！」では科学的な考え方のポイントについて具体例を示している。</p>
	資 料	<p>○自然の不思議や美しさを感じさせる写真を多く取り入れている。</p> <p>○各学年とも巻頭で科学的事象へ興味をもつような写真を取り上げている。</p> <p>○地域資料集のページを設け、自分たちの身近な自然に興味をもたせるような工夫をしている。</p> <p>○観察・実験における安全配慮事項について、児童に分かりやすいマークを用いている。</p>
	表 記・ 表 現	<p>○課題文は色を変えて地の文との違いを明確にしている。</p> <p>○本文は3年生が敬体で、4年生以上は常体で記され、考察の文章には下線が引かれている。</p> <p>○問題文の文やキャラクターのセリフを意味改行している。</p>
	総 括	<p>○「わくわく理科プラス」という小冊子がついていて、学習のはじめと終わりに活用できるようになっている。</p> <p>○「理科につながる算数のまど」や「読んでみよう！理科の本」など算数科や国語科と連携を図る工夫がみられる。</p> <p>○5年や6年では、防災教育や減災教育の視点での「くらしを守る」という紙面を設けている。</p>

種目 ( 生活科 )

<p>書名 項目</p>	<p>どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 <span style="float: right;">2</span> あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下 <span style="float: right;">東 書</span></p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○上巻は学校や通学路、家庭、身近な公園を主たる活動の場、下巻は身近な地域へと活動の場を広げ、その場での家族や地域の人々、生物とのふれあいや観察、世話、様々な生活体験、遊び、安全や健康に対する学習、自分自身を見つめたり振り返ったりすること、調べたことや自分の考えなどの表現活動等の具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養うよう構成されている。</p>
<p>特 色</p>	<p><b>内 容</b></p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○オリジナルキャラクターがナビゲーターとして問いかけている。屋外観察等では「てをあらおう うがいしよう」マークにより衛生面に配慮している。</p> <p>○栽培用の植物はアサガオ、ヒマワリなど12種類の花(上巻)、ミニトマト等7種類の野菜(下巻)、飼育動物はウサギ等3種類(上巻)、ザリガニ等4種類(下巻)、観察時に危険なセアカゴケグモ、チャドクガ等の生物の他、それらに準ずる生物や観察対象となる動植物が合計20種類ほど扱われている。</p> <p>○用意するもの、観察や作業の方法、注意点等がイラストと文でわかりやすく示されており、知識や技能を修得できるよう工夫されている。字体を使い分けたり、文節で改行したりするなど読みやすくして理解を助ける工夫がされている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○児童の観察記録等を随所に示し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がなされている。「やってみよう」コーナーを設け、児童の発達段階に応じて発展的、選択的に活用することができるよう工夫している。</p> <p>○教師の指導や支援例が吹き出し等で示され、児童の気付きの質が高まるように工夫されている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○対象と繰り返し関わったり、自分の思いや気づきを表現したりする学習活動を充実させることで主体的に学習に取り組む態度を養う工夫をしている。</p> <p>〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉</p> <p>○家族や地域の人々、生物との様々なふれあいを通して自分と周囲との関わりを意識させたり自己評価を行ったりし、自立への基礎を養うよう工夫されている。</p> <p><b>資 料</b></p> <p>○上巻に「すたあとぶっく」が9ページ、巻末に「べんりてちょう」(上巻7ページ、下巻19ページ)、「ポケットずかん」(上巻のみ8ページ)がある。</p> <p>○大きさの異なるページを取り入れたり図鑑的ページをまとめたりするなど、児童の興味や関心を高める工夫がなされている。表情の豊かな写真やイラストを用い、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p> <p><b>表記・表現</b></p> <p>○写真やイラストに吹き出しで考えを示したり児童が作成した記録例の中に模範的な考え方を示したりすることで、児童の理解を高める工夫がされている。</p> <p>○色覚問題の専門家に校閲を依頼し、配色、デザインを工夫している。多様な児童が落ち着いて学ぶことができるよう落ち着いた淡いトーンで統一している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○本文は、上巻116ページ、下巻120ページで、それぞれ9単元ある。</p> <p>○障がいのある児童と学ぶことを想定し、イラストや写真の中に車いすの児童が示されている。環境保全に関し、持続可能な開発のための教育に関わる資料ページを設けている。見開きでの構成を基本とし、上部に小単元名や課題、その他関連マーク等を配し、写真やイラストの配置も原則として統一されている。</p>

種目 (生活科)

項目 \ 書名	新版 たのしい せいかつ 上 なかよし 4 新版 たのしい せいかつ 下 はっけん 大日本
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○具体的な活動や体験について、児童の主体的・能動的な活動を促すために、興味・関心をひくような色鮮やかな写真や挿絵を用いて構成している。 ○児童が身近な人々や社会、自然とかかわりを深めながら、気付きの質が高まるように配慮されている。
特色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> ○基本的な生活習慣や技能、安全への意識などが具体的な活動や体験をしながら身に付くように配慮されている。 ○飼育栽培では、ウサギなど6種類、コオロギなど7種類、アサガオなど9種類、ミニトマトなど10種類を扱い、育て方を示している。 <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> ○聞いたり調べたり教え合ったりすることで、見付ける、比べる、たとえるなどの活動を位置付け、児童が自分の考えを見直すことができるようにしている。 ○疑問や問いかけの投げかけにより、児童が多様な気付きを自覚化できるように工夫している。 <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> ○学習課題を具体的に明確にする説明文を木の葉スペースで表し、児童が自ら進んで活動できるように工夫している。 <p><b>&lt;具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫&gt;</b></p> ○学校生活に慣れるように遊びや活動、きまりなどを例示し、校舎内や校庭、学校の周りの通学路で出会う人とかかわりを写真や絵で示している。 ○新年を迎える準備や伝承遊び、通学路の歩き方や公園での遊び、春秋2回の町探検、道路の安全な歩き方や公園でのきまりごとなどを紹介している。 ○自然や物を使った遊びでは、水、砂、花、葉、実を使った遊び、風、雪、氷、影などの遊び、日用品や廃材を材料にしたおもちゃ作りを取り上げている。 ○自分の成長では、上巻で新1年生を迎える教室の準備を、下巻で自分のよいところやできるようになったことを見付け、発表会を開く活動を紹介している。 <p><b>資料</b></p> ○上下巻の巻末にそれぞれ「がくしゅうどうばこ」があり、活動の発展に役立つ資料が付いている。下巻にネイチャーゲームのビンゴカードが付いている。 ○ページ端に番号の付いたインデックス仕様の図鑑やスキルのページ（がくしゅうどうぐばこ）が上巻に7、下巻に14ある。国語との関連を「せいかつことば」のマークで、また、発展的な学習内容をカバのキャラクターで示している。 <p><b>表記・表現</b></p> ○単元名は、上巻「なかよし」下巻「はっけん」で統一し、大単元名と小単元名を白抜き丸ゴシックで示している。 ○パンダ、サル、ウサギ、カバのキャラクターが活動の示唆、意欲の触発、気付きの高まり、安全への注意などを促している。
総括	○上巻133ページで4単元、下巻129ページで5単元からなる。 ○単元中や巻末の「がくしゅうどうぐばこ」は図鑑としての活用や学習のスキルの紹介をしている。上下巻に透明シートの口絵のページが1か所ずつあり、児童の興味・関心を高めるように工夫されている。また、小単元「もうすぐ2ねんせい」で幼稚園児等を案内する活動を取り上げ、幼保小の連携を図っている。

種目 (生活科)

書名 項目	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 下 11 学 図
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○具体的な活動や体験について、児童が目的意識や見通しをもって活動に取り組むことができるように、写真やイラストを用いて分かりやすく示している。 ○児童が身近な人々や社会、自然とかかわりながら身に付けていく学力を明確にし、そのことが保護者にも分かるように配慮されている。
特 色  内 容           資 料   表 記・ 表 現	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○飼育栽培では、チャボなど5種類、ザリガニ、ダンゴムシなど6種類、アサガオなど7種類、ミニトマトなど6種類を主に扱い、育て方を紹介している。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○活動の写真やイラストに児童のつぶやきや会話をそえて、気付きの質が高まるように配慮している。振り返りでは、劇やクイズ、新聞などによる紹介、作品作りなどを「学びかたずかん」を参考に表現方法を工夫できるようにしている。</p> <p>○観察・記録の活動では、「ものしりノート」を参考にして、表現や科学的な見方・考え方の基礎が身に付くように工夫している。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○家の仕事に取り組んだり、製作したりする活動では、児童が計画を立て実行し振り返る一連の過程により、自ら進んで活動できるように工夫している。</p> <p>＜具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫＞</p> <p>○学校と生活では、教室や校庭で見つけたものを話した後、繰り返し探検し校内の人とかかわる活動を写真などで紹介している。</p> <p>○春の公園での遊び、商店や消防署、農家の人などとかかわる町探検を行い、「チャレンジ図かん」で障害者のための設備等を発展的な学習として紹介している。</p> <p>○公共物や公共施設の利用では、バスや電車の利用の仕方などを紹介している。</p> <p>○季節や水、砂、土、石、落ち葉、木の実を使った遊び、風、雪などを利用した遊び、昔の遊び、日用品や廃材を材料にしたおもちゃ作りを取り上げている。</p> <p>○新1年生を迎え校内を案内する活動や、生まれたときから今までの成長を絵本、巻物、紙芝居でまとめる活動を紹介している。</p> <p>○巻末に「学びかたずかん」「生きものずかん」「あんぜんのページ」があり、学習の方法を確かめることができる資料が付いている。巻末の資料を参照することを案内するマーク（開いた本の形）が随所があり、活用を促している。</p> <p>○上下巻の冒頭と下巻の中ほどに折り込みページがあり、見開きのすごろくや細密画になっている。町の季節図鑑を8ページ載せている。</p> <p>○単元を扱う時期が一目で分かるように、目次の表記が工夫されている。大単元名は見開きの扉ページ、小単元名は奇数ページの右上にインデックス仕様で示す。</p> <p>○上下巻を通して男女4人のキャラクターが活動を展開していく形式になっている。</p>
総 括	<p>○上巻132ページで7つの単元、下巻128ページで5つの単元からなる。</p> <p>○上下巻末に「きみならどうする」があり、発展的な活動に結び付けたり、学習した内容を日常生活に生かしたりできるように工夫している。</p> <p>○上下巻で3つの大画面の細密画があり、児童の興味や関心をひくようにしている。</p>

種目 ( 生活科 )

書名 項目	せいかつ みんななかよし (上) <span style="float: right;">17</span> せいかつ なかよしひろがれ (下) <span style="float: right;">教出</span>
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○上巻は学校や通学路、家庭や身近な野原を活動の場とし、下巻は身近な地域へと活動の場を広げ、その場での家族や地域の人々とのふれあい、生物とのふれあいや観察、世話、様々な生活体験、遊び、安全や健康に対する学習、自分自身を見つめたり振り返ったりすること、調べたことや自分の考えなどの表現活動等の具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養うよう構成されている。
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○オリジナルキャラクターがナビゲーターとして問いかけている。屋外観察等では「てをあらおう うがいしよう」マークにより衛生面に配慮している。見開きでの構成を基本とし、小単元名、学習のねらい、教科関連マーク等、自己評価欄、家庭との連携や注意事項が見やすく配置されている。学習のヒントや注意事項は「はっけん ヒント」に見やすく明示している。</p> <p>○栽培用の植物はアサガオなど8種類の花、ミニトマト等9種類の野菜)、飼育動物は上下巻とおしてモルモット等ほ乳類、鳥類各2種類、ザリガニ他数種類の他、観察対象となる動植物が合計20種類ほど扱われている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○各単元の導入では、興味関心を高める内容を提示したり、活動をイメージさせる吹き出しを用いたりして、学習意欲を高めるように工夫している。</p> <p>○児童の観察記録等を随所に示し、児童の発達段階に応じ、徐々に単なる記録から感じたこと、思ったこと、考えたことの例を示し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がなされている。見通しを持つ、予測する、試行錯誤をするなどの活動から事物の法則に気づき、論理的な思考をはぐくむ工夫をしている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○各単元末で「ふりかえる」コーナーを設け、自己評価を行うことで自己を振り返り、主体的に学習に取り組もうと知る態度を養うようになっている。</p> <p>〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉</p> <p>○家族や地域の人々、生物との様々なふれあいを通して自分と周囲との関わりを意識させたり自己評価を行ったりし、自立への基礎を養うよう工夫されている。</p>
	<p>資料</p> <p>○スタートカリキュラムのページが13ページ、巻末には資料ぐんぐんポケット(上巻10、下巻20ページ)や書き込みページが2ページ(上下巻)ある。</p> <p>○折り込みページや光の当たり方によって見え方が変わる写真等、興味や関心を高める工夫がなされている。表情の豊かな写真やイラストを用い、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○写真やイラストに吹き出しで考えの例を示したり、児童の記録例の中に模範的な考え方等を示したりすることで、児童の理解を高める工夫がなされている。</p> <p>○日本各地の様子を写真で示し、自身の地域と比較できるよう工夫されている。カラーユニバーサルデザインを取り入れ色覚の個人差に対応している。</p>
総括	<p>○上巻120ページ、下巻114ページで、それぞれ9つの小単元にわけている。</p> <p>○様々な国籍の児童と学んだり、障がいのある児童と学んだりすることを想定し、イラストや写真の中に車いすの児童や外国人の児童が示されている。環境保全に寄与す態度を育てることができるよう、関係する場面には「地球となかよし」マークを示している。</p>



## 種目 (生活科)

書名		せいかつ上 みんな だいすき	38
項目		せいかつ下 みんな ともだち	光 村
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○児童の主体的な活動を促すために、鮮やかな写真やタッチの異なるイラストを多用し、学ぶ意欲を高めるように工夫している。</p> <p>○大単元を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成してそれぞれの活動を段階的に配列することで、児童の思いや思考の流れを大切にするように配慮している。</p>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○飼育栽培では、モルモットなど6種類、ダンゴムシなど4種類、アサガオなど6種類、ミニトマトなど8種類を主に扱い、育て方を紹介している。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○活動の写真やイラストに児童のつぶやきや会話をそえ、思いや願いを表現できるように促すとともに、気付きのヒントを置いている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○児童に呼びかけるような言葉で学習課題を提示し、思考する場面を織り込んで、試行錯誤しながら活動を深めたり広げたりできるように配慮している。</p> <p>○観察したことや知らせたいことなどを絵や文で表したカードを数多く例示し、児童が活動の見通しをもち、進んで取り組むことができるように配慮している。</p> <p>&lt;具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫&gt;</p> <p>○家族の「にこにこ」を増やす活動、季節に応じた公園での遊び、商店や消防署、駅の人などとかかわる町探検を行い、地図にまとめていく活動を行う。</p> <p>○公共物や公共施設の利用では、町探検の活動で図書館を紹介し、公園や乗り物を使うときのマナーを絵を使って取り上げている。</p> <p>○季節の変化と生活では、上巻で春夏秋冬の遊びと雨の日の様子を取り上げ、四季を通じて公園で自然とかかわる活動を紹介している。</p> <p>○草花、水、砂、木の実、風、雪、氷、影など自然物を使ったり利用したり遊び、日用品や廃材を使い遊び方の工夫から動くおもちゃ作りへと展開している。</p> <p>○幼稚園児等を招き交流する活動、互いのよさを伝え合う活動、思い出を巻物やペープサートなどを使って伝える活動を取り上げている。</p>	
	資 料	<p>○「もっとやってみたい」で発展的な内容を取り上げている。上下巻末に「きせつのおくりもの」があり、図鑑的な資料（四季の生き物、町の様子）を合わせて20ページ載せている。</p> <p>○オリジナルソングのマークがあり、5曲が掲載されている。折り込みページに校舎内と校庭が一望できるようにし、活動の広がりを促している。</p>	
	表記・表現	<p>○活動の段階を表す見だし（ホップ、ステップ、ジャンプ）が偶数ページの左上に示されている。</p> <p>○大単元名は見開きの扉ページに、拡大写真やイラストとともに示している。</p>	
総 括		<p>○上巻120ページで7単元、下巻104ページで6単元からなる。すべての大単元を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成している。</p> <p>○安全面の配慮など、生活上必要な習慣や技能は活動する中で習得できるように「！」のマークで示し、学習方法は「どうすれば、いいのかな」コーナーに明記している。</p>	

種目（生活）

<p>書名 項目</p>	<p>わくわく せいかつ上 せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ下</p> <p style="text-align: right;">61 啓林館</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○学習指導要領で求められている「関心をもつ、気付く、わかる、考える、深める」に対応した「わくわく、いきいき、つたえあおう、ちゃれんじ」の4段階の紙面構成になっている。具体的な活動の中や後の言語活動の例示が多く、気付きの質を高めつつ、自立への基礎が身につけよう工夫されている。</p> <p>○保幼少の連携や他教科への繋がりも配慮されている。</p>
<p>特色</p> <p>特 内 容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○単元の終わりの「つたえあおう」で伝え方のポイントが示されている。同じ形式の学習カードが例示により、わかりやすく、習熟しやすい工夫がある。</p> <p>○上巻はダンゴムシなど6種類、下巻にはカマキリなど13種類の動物や、ミニトマトを主教材とし、他にナスなど4種類の野菜が示されている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○身近な校庭を定点観測し、季節の変化をいろいろな観点から気付かせたり、付箋を貼りながら考えをひろげたりまとめたりする方法が示されている。</p> <p>○おもちゃ作りをしながら、風、ゴム、磁石などの動く仕組みに目が向くような例示にし、3年生の理科につながるようになっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○児童が他者とやり取りする場面を設定し、活動を深めて次につなげるように工夫されている。</p> <p>○「こんなときどうしよう」のコーナーで自ら解決方法を考えることを促したり、「レッツゴー町たんけん」→「もっと行きたいな町たんけん」「どんなあそびができるかな」→「どうすればもっとたのしくあそべるかな」と前の体験を生かし発展・継続させたりするような単元構成になっている。</p> <p>〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉</p> <p>○「できるかな」のコーナーは、学習内容に関連づけて、基本的な生活習慣が身に付いたか自らチェックするようになっている。</p> <p>○幼稚園や保育所との交流を入れた単元があり、学習の成果を伝えながら自分の成長を感じられるようになっている。</p>
<p>資料</p>	<p>○別冊の小冊子「せいかつたんけんブック」が付いている。</p> <p>○巻末の「わくわくずかん」へのリンク、言語活動例が5ページ示されている。</p> <p>○導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、交流活動の「つたえあおう」広げて深める「ちゃれんじ」の4段階の紙面構成になっている。</p> <p>○イラストで見開き2ページの、道徳的な心情を育もうとするページがある。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○「あぶない」コーナーは、赤の題字と囲みで、目立つ。</p> <p>○イラストの目次で、児童に学習の展望を示している。</p> <p>○それぞれの学習段階にキャラクターがいて親しみやすい。</p> <p>○さらに調べるためのページへのリンクが示されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○教師とともに考えたり話し合ったりする授業場面が多い。屋外の活動場所も校庭や近くの公園などが多く、実際の学習に即している。</p> <p>○生きもの単元を1年生でウサギやモルモット、2年生で昆虫やザリガニなどに分けて発展させたり、2年生で町たんけんを春と秋に行うようにしたり、繰り返し、スパイラルな学習になっている。</p>

教科（生活）

<p>書名 項目</p>	<p>わたしとせいかつ上 みんななかよし 116 わたしとせいかつ下 ふれあいだいすき 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○繰り返し十分な体験活動ができるように、多くの活動場面が設定されている。 ○小一プロブレムに対応したページがある。保幼連携や自然との共生、人や社会とのかかわりが多く例示されている。 ○活動の中で、自立に必要な基礎基本が身に付くように構成され、豊富な写真や多種の学習カードにより、思考と表現の一体化を図れるように工夫されている。</p>
<p>特色</p>	<p><b>内 容</b></p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉 ○側欄の青マークに「～のしかた」等活動の基礎基本を示すコーナーがある。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉 ○学習カードの種類が多く、計画段階「せつけいず」、活動中「しつもんカード」、振り返り「ふりかえりカード」など書く活動が多彩である。 ○生きもの単元を2年生だけにして、クワガタなど15種類の様々な生きものと触れ合い、図工や作文に発展させている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉 ○おもちゃづくりの例示が4ページ12種類あり、活動意欲が高まる。 ○野菜作りの単元の発展として秋冬の野菜作りの例示、「もう一度チャレンジ」、秋冬の生き物観察の例示があり、継続的な活動ができるよう工夫されている。</p> <p>〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉 ○「おともだちおうえんカード」「チームのよてい」「みんなのいいところ」など、友達との協力をうまく進めるための例示が多い。 ○1年生に「いっしょにいとあんしん」という、家族の繋がりを採り上げてから、自分の成長へとつなげている。 ○ミニトマト、サツマイモの他大豆を採り上げ、収穫したものを食べる活動の例示が多い。他に、なす、にんじん、とうもろこし、じゃがいも、おくら、きゅうり、ほうれん草、小松菜、キャベツ、かぶ、イチゴ、白菜、の例示がある。 ○夏休み単元があり、計画表や自由研究の例示がある。 ○児童が家族とやり取りする場面を設定し、学習を深めたり広げたりするとともに、生活化を図っている。</p> <p><b>資 料</b></p> <p>○「いちねんせいになったら」が17ページあり、イラストでわかりやすい。 ○通学路の安全、地震津波、バリアフリー、リサイクルなど現代的な課題へ対応した写真資料が多い。 ○実際の子どもが主人公となり、名前も付いている。 ○児童が活動している写真が多い。また、写真による定点観測がある。</p> <p><b>表記・表現</b></p> <p>○目次などいくつかの場所に点字やさわって感じるマークがある。 ○「おもちゃけんきゅうじょ」「ふゆのたからさがしだ」等、小単元名が児童の興味を引く。また、学習課題の下に、主な発問があり授業展開しやすい。 ○青いクレヨンマークで関連するページを示している。</p>
<p>総括</p>	<p>○上巻138ページ、下巻132ページと、ページ数が多い。 ○単元をまとめて一つの単元で内容を深く広く扱っている。例示している野菜、生きもの、発表の仕方の種類が多い。 ○学習の中での関わり合いを重視している。先生と児童、友達同士、1年生、地域の人などと関わり合っている絵や写真、活動例が多い。</p>

## 種目（音楽）

項目		書名	17 教出
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○発達段階に応じて、我が国や諸外国の音楽や文化と関連する幅広いジャンルの教材が用意され、多様な音楽に触れることができるように工夫されている。</p> <p>○主要部分と選択可能なオプション部分で構成され、効果的に組み合わせることにより、表現と鑑賞の活動がバランスよくできるように工夫されている。</p> <p>○系統的な題材を6学年通して段階的・系統的に学べる構成になっている。</p>	
特色	内容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、楽曲ごとに題材と使用される共通事項が表示され、学習内容が明確である。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○既習学習及び関連ページが明記されており、発展的な学習ができるように工夫されている。</p> <p>○「音楽を言葉で表すための言葉」が表示され、表現力を深める工夫がされている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○「もっとあそぼう」のコーナーがあり、学習内容を生かして主体的な表現活動ができるよう工夫されている。</p> <p>&lt;音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる工夫&gt;</p> <p>○日本音楽の学習では、日本特有の季節感や自然の美しさ、歴史や文化との関わり、和楽器の奏法などに楽曲を通じてふれることができ、心揺さぶりながら情操面を養うことができる。</p> <p>○著名人の写真やメッセージを掲載し、自分と音楽とのかかわりや音楽のもつ意味等を考える学習活動に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○日本及び諸外国の音楽の特徴が扱われており、様々な音楽観にふれることができ、知的好奇心を高める工夫がされている。</p> <p>&lt;音楽活動の基礎的な能力を培う工夫&gt;</p> <p>○歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞のいずれにおいても「共通事項」を手がかりとして児童が学習できるように構成されており、巻末ページ等で振り返りができるように工夫されている。</p> <p>○音楽づくりでは、鑑賞との関連を重視し、「音のスケッチ」の中で、系統的、発展的に位置付けされている。また、様々なヒントが掲示されている。</p>	
	資料	<p>○見開きページの写真・イラスト等の資料は、臨場感溢れるものであり、親しみやすく、興味関心が深まるものとなっている。</p> <p>○「音楽のもと」「リコーダー運指」等の基礎的な共通事項について、絵や図を使用しやすくされている。</p>	
	表記・表現	<p>○楽譜や文字の大きさは、発達段階に応じて設定されている。歌詞の表記は黒明朝体であるが、2番をゴシック体で表記し、読みやすい工夫がされている。</p> <p>○活動ポイントや既習学習を明記する記号が定められ、活用しやすい。</p> <p>○楽譜のベースカラーは白を基本とした薄い色で、落ち着いて取り組める。</p>	
総括		<p>○様々な記号や図、キーワードやキャラクターを用いた多くの説明と多くの学習内容が凝縮されているので、児童の実態に合わせて知識を深化補充することができる。</p> <p>○各学年に示されている「につぼんのうた・みんなのうた」は、歌い継いでいきたい我が国の歌の扱い、我が国の自然や四季、くらしと音楽のかかわりが掲載されている。</p>	

書名		27
項目	小学生の音楽	
	教 芸	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○題材は6年間を通して、系統的、段階的に設定されており、表現と鑑賞の関連を図りながら学びが学年の中、学年を超えてつながるように構成されている。</p> <p>○発達段階に応じて、我が国の音楽や文化、国際理解、道徳的観点と関連する教材を充実させ、自国の文化・伝統を愛する心情を深めていくことができる。</p>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○基礎的基本的な内容を理解したり習熟したり振り返ったりできるコーナーが設定され、着実に身につくように工夫されている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○線、色や図形楽譜等を使用し、視覚的に「音楽のつくり」に着目できるように工夫されている。</p> <p>○低学年では、身体的な活動を中心に、身体で感覚をとらえていくような活動の工夫がされている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○音楽づくりのてがかりを豊富に示され、楽しく作る工夫がされている。</p> <p>○巻末に基礎・基本的な事柄が載っており、自主的に調べて、今までの学習を振り返ったり、学習をより深めたりすることができる工夫がされている。</p> <p>&lt;音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる工夫&gt;</p> <p>○楽曲が精選されていて、1つの楽曲から多くの表現方法や児童の感受性を引き出して学習が進められるように工夫されている。</p> <p>○題材内で、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の関連を図りながら進めることができるように、内容の構成が工夫されている。</p> <p>○「ひびき」「美しさ」等、音楽に対する言葉が使われており、情操的な指導を重視する工夫がされている。</p> <p>○歌唱教材において、「言葉」を大事した取組が展開されており、児童の感性が高まる工夫がされている。</p> <p>&lt;音楽活動の基礎的な能力を培う工夫&gt;</p> <p>○「聴く」ことが重点的に取り上げられ、我が国や諸外国の音楽を尊重しながら音楽活動をすすめていく工夫がある。</p> <p>○歌唱教材は、学年に応じた音域に配慮し、言葉の抑揚やまとまりを感じ取らせるための、記譜の工夫がされている。</p>
	資 料	<p>○指導内容によって、写真や絵が使い分けてあり、使用しやすい工夫がされている。</p> <p>○巻頭ページには、児童が興味関心をもって音楽活動に取り組める工夫がされている。</p> <p>○学習内容に応じて、見やすくわかりやすい文章で資料が掲載されている。</p>
	表記・表現	<p>○1ページ内の文字数や楽譜と資料とのバランスが見やすいように、工夫されている。</p> <p>○題材ごとに通し番号がふられており、題材のまとまりごとにわかりやすい工夫になっている。</p> <p>○題材、楽譜、説明などの文字の大きさや色合い、書体等で工夫されており、見やすくバランス良く標記されていて統一感を感じられるようになっている。</p>
総 括	<p>○題材、教材の内容・バランスは、各学年の授業時数に配慮して設定されており、学習の見通しが明確になっている。総ページ数が6年間を通して統一されている。</p> <p>○全学年に「歌いつごう日本の歌」として童謡や唱歌などが取り上げられており、世代を超えて日本文化の共有ができるように工夫されている。</p>	

書名		9 開隆堂
項目	<h1 style="text-align: center;">図画工作</h1>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○学習指導要領における図画工作科の「目標」を達成するために育てたい力を、題材ごとにマークとともにわかりやすく示している。また活動の過程の写真を掲載し、児童が主体的に活動できるようになっている。</p> <p>○各学年の内容に応じた「表現と鑑賞」と「育てたい力」の二つの視点から系統的にバランスよく題材を配列し、目標にせまっている。</p>	
特色	内容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○各題材のページに必要な材料や用具の扱い方を示し、さらに巻末の『道具箱』『パレットコーナー』により基礎・基本の知識・技能が学べる工夫がある。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○造形的な課題を追究解決するために必要な選択・発見・判断・決定する力を子どもの中に育てている課題が示されている。また写真などにより、納得するまで試行錯誤しながら製作する様子が示されている。(例 1.2年下つづきえ どんどん)</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○「やってみよう」と感じる、既習事項を生かせる題材の配列になっている。</p> <p>○知識や技能の習得ばかりが中心にならないよう、造形表現活動の楽しさや用具・材料の可能性を十分に楽しむ題材が配置されている。</p> <p>&lt;表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わう工夫&gt;</p> <p>○様々な感覚（聴覚・触覚など）を使って感じ取り、色や形を活用し、豊かに表現できる題材が工夫されている。(例 3.4年上こんにちは、ふわふわさん)</p> <p>○友人との会話を通して見方や感じ方を豊かにする様子を紹介している。</p> <p>&lt;造形的な創造活動の基礎的な能力を養い、豊かな情操を養うための工夫&gt;</p> <p>○各題材に大きさ、長さ、量、質の異なる豊富な身近材が紹介され、素材との会話により表したいことを創造する可能性を広げることができる。</p> <p>○題材ごとに4観点の「ふりかえり」が示され、児童が自身に付いた力を観点別に確認できるとともに、本題材で学習した成果を実感することができる。</p>
	資料	<p>○A4判の大きな誌面で見やすく資料が配置されている。発達段階に合わせた発想や工夫の具体例が示されている。</p> <p>○色別の囲みにより、補充または発展的な学習ができる工夫がある。</p> <p>○各巻に『小さな美術館』のページがあり、さまざまな作品の鑑賞ができる。また、作者の気持ちを想像するなど、鑑賞の手立てを学ぶ仕組みがある。</p>
	表記・表現	<p>○題材ごとに始めに目標が、最後に振り返りがあり、学習のねらいと成果の確認ができる。また、同じ題材に対する表現の対比など多様性を学ぶことができる。</p> <p>○色覚に多様性のある子供たちに配慮した、カラーユニバーサルデザインを採用している。安全面やかたづけなど、配慮すべき点もマーク等でわかりやすい。</p>
総括	<p>○題材の系統性があり、既習事項を生かすことができる配列である。</p> <p>○身近で多種多様な材料、多くの表現方法の紹介、巻末の『道具箱』『パレットコーナー』により造形的な創造活動の基礎的な能力を培うとともに、児童が自主的・主体的に課題を追究し、学習を発展させることができる。</p> <p>○『ふりかえってみよう』『ふりかえって、はなしあおう』のコーナーにより図画工作における言語活動の充実を図ることができる。また児童自身が、学習を通して何が身に付いたかを自覚する手立てとすることができる。</p>	

種目 ( 図 工 )

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>図画工作</h1> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○①豊かな情操を養う教材②言語活動の充実③共同して作り出す教材④自然に親しみ、よさを体感する活動⑤伝統的な文化遺産を味わう活動がバランスよく配列され、教科の目標にせまっている。また〔共通事項〕が全体的に意識されている。</p> <p>○表現活動に関する内容については幼・小また小・中と連携して取り組む学習が開発できる工夫がある。</p>
<p>特 色</p>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○題材名の近くに4観点が見られ、学ぶ目的が明確に示されている。</p> <p>○「形、色、イメージ」の〔共通事項〕がキャラクターによって繰り返し登場し、表現及び鑑賞にあたり、〔共通事項〕を常に意識させる仕掛けがある。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○キャラクターの吹き出しにより、工夫や見方のヒントが示され、発展的な学習ができる。</p> <p>○構成や構図、描画材料に工夫があり、「どうやって制作したのだろう」と児童が関心をもち、目標やめあてをもって学習に取り組める作例が掲載されている。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○製作方法に迷ったり、用具の効果的な使用方法を探したりしているときに必要な子供たちの活動を支えるヒントや情報が数多く掲載されている。</p> <p>○見開きで紹介されている題材と、活動する子供たちの多数の写真により、「楽しそう」「やってみよう」と期待させる題材の提供が見られる。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わう工夫&gt;</b></p> <p>○『教科書美術館』をはじめとする巻頭・巻末ページに表現する喜びや楽しさが感じられる工夫がある。特に表情豊かな子供の写真など、身近なところに造形活動があることを感じ取れる子供が主役の資料が豊かである。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;造形的な創造活動の基礎的な能力を養い、豊かな情操を養うための工夫&gt;</b></p> <p>○児童の作例に作者の言葉が囲みを使って表され、作品に込められた作者の思いを知り、自分の表現したいことを言葉で確認することを学ぶことができ、言語活動の充実を図ることができる。</p> <p style="text-align: center;"><b>資 料</b></p> <p>○子供の活動写真、特に考える・工夫する・制作するなどの姿が掲載され、課題を追究し制作する過程がわかりやすい。</p> <p>○すべて題材が見開きで示され、見やすく、意欲を喚起する。</p> <p>○キャラクターが制作するときの工夫や発想のヒント、鑑賞するときの視点を示している。また裏表紙にも基礎的な知識・技能が身につけられるコメントがある。</p> <p style="text-align: center;"><b>表記・表現</b></p> <p>○ユニバーサルデザインの視点でつくられ、授業で使用する主な道具、学習の目当てなどが色別やマークで定位置にわかりやすく表示されている。</p> <p>○『きをつけよう』『かたづけ』など安全と環境に配慮した活動のポイントが簡潔に表記されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○巻末『使ってみよう材料と用具』が充実し、技法や知識が豊富に紹介されている。また同じく巻末の『ぞうけいのもり』に動物や植物など制作の参考になる資料が豊富にあり、課題の追究にあたり発想・制作などさまざまな段階や場面でヒントが得られる構成になっている。身近な材料の小品から大作まで多様な作例と製作風景が紹介され、意欲を喚起する内容である。</p>

種目（家庭）

書名		新編 新しい家庭	2 東 書
項目			
教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○基礎的・基本的知識及び技能が確実に習得できるよう、繰り返して学べるように工夫している。</p> <p>○家族の一員として生活をよりよいものにするための実践が生まれ、家庭を大切にしている心情も育てようという配慮が見られる。</p> <p>○多くの実践的・体験的な活動を通して、「してもらう自分」から「できる自分」への成長を実感し、自己肯定感を高めていけるようにしている。</p>	
特色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○基礎的・基本的知識及び技能が確実に習得できるように「いつも確かめよう」を収載し、大切なポイントをまとめている。茶色のインデックスがあり、見開きで活用しやすい。</p> <p>○めあてを振り返る視点があり、スモールステップで学習を振り返ることができる。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○キャラクターの問いかけにより、学習のポイントについて考える機会がもてる。記入欄も多く設けてあることにより、表現する機会を確実にもたせることができる。</p> <p>○D o活動の提示により、課題意識をもって考えたり話し合ったりできる。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○全ての題材を3ステップで構成しており、見開き2ページの横に流れるデザインでレイアウトされ、学習の見通しをもって問題解決的に学習が進められるようになっている。</p> <p>○観察したり調べたりしたことを記録するワークシートが多く、主体的に学んでいける。また、その記録により、自分自身の学習を振り返ることができる。</p> <p>&lt;実践的・体験的な学習活動を充実する工夫&gt;</p> <p>○衣、食、住、消費・環境の内容を関連付けた題材設定を行い、学習したことを家庭生活でよりよく実践していけるよう工夫されている。</p> <p>○いずれの題材でも、扱っている内容（作品等）が比較的簡単で、経験の少ない児童が初歩から確実に実践できるように思える。</p> <p>&lt;家庭生活を大切にしている心情を育成する工夫&gt;</p> <p>○5年生の最初の題材で家族の存在を明確化している。また、調理実習や消費の学習、自由研究のコーナーでは、家族のために実践しようという意欲をもたせる工夫がある。</p> <p>○題材の表記に、家庭を大切にしている視点がおりこまれ、内容も交流やコミュニケーションを大切にしながら、家庭や地域を大切にしている心情を育てるように工夫されている。</p>	
	資 料	<p>○巻末に「いつも確かめよう」の拡大版がまとめて収載されていて、基礎的・基本的な知識や技能を必要とときにいつでも確認できる。左利き用の資料も提示されている。</p> <p>○「日本の伝統」では、日本の伝統的な生活文化に関する内容、「プロに聞く！」では、キャリア教育と関連させた学習内容と仕事のつながりを資料として収載している。</p>	
	表記・表現	<p>○かなり多くの記号やマークを活用してあり、様々な知識を得たり、活動の参考にしったりできるようになっている。</p> <p>○使われている色が淡くやさしい雰囲気に仕上がっている。ただし背景に淡い色を使っていて、やや見にくい感じもする。</p>	
総 括		<p>○児童の発達段階に応じて、全ての領域の内容を関連付け、振り返りながら深めていけるように、配列を工夫している。</p> <p>○消費の題材を充実させ、また今日的課題も多く扱っており、題材設定に思考力・判断力・表現力を育てるための工夫がある。</p> <p>○ページ数が多く書き込みも多いので、やや負担感を感じる懸念がある。</p> <p>○「日々の備え」で災害時に備える内容を掲載したり、環境や安全、他教科との関連を示したりして、家庭科の学習を家庭生活に生かしていけるような視点が盛り込まれている。</p>	



書名 項目	小学校 わたしたちの家庭科 <span style="float: right;">9 開隆堂</span>
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単純なものや平易なものから複雑なものや難しいものへと、基礎的・基本的なものが確実に定着するよう工夫されている。</li> <li>○家庭生活や家族を大切に教材の選定・表記の工夫等により、よりよい家庭生活を営もうという心情を育てようとしている。</li> <li>○実践的な態度を育てるために、児童の興味・関心を大切にストーリー性のある題材配列にしている。</li> </ul>
特 色 内 容 資 料 表 記・表 現	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○活動や実践における基礎的な内容や手順が、どの題材でも同じように見開き2ページで、分かりやすく示されている。説明の文章も簡潔で基本的事項をとらえやすい。</li> <li>○題材の構成が細かく設定されており、児童の発達段階や季節、学校生活などにあわせてスモールステップで学習が積み上げられるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「話し合おう」といった課題の投げかけにより、児童が関心をもち、自ら課題をみつけ、考え、表現する場を提供している。</li> <li>○ポイントを絞って書き込ませることで、自分の生活を見つめ考えたり深めたりできる。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材の最初のページにその題材のめあてが明記されているため、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。</li> <li>○「ふり返ろう」コーナーでは実習をふり返って自己チェックをすることができる。また、「生かそう」では、家庭での主体的な実践を促している。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を充実する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経験の少ない児童が初歩から確実に段階を踏んで実践できるように、既習事項（他教科との関連等）や安全面・衛生面について、ていねいに提示している。</li> <li>○長期休みには、課題を決めて家庭で実践できるようチャレンジコーナーを設けている。</li> </ul> <p><b>&lt;家庭生活を大切にできる心情を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族や地域とのつながりを考えたり、家庭や家族の大切さに気付かせたりする題材を、効果的に配列している。</li> <li>○家族の写真の中に両親だけでなく祖父母も同じくらいの頻度で出ており、3世代家族がイメージでき、家族に対する思いを育てる助けになっている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2学年間を見通したストーリー性のある題材の構成と配列になっている。2つの題材構成で2学年にわたってスパイラルに対比しながら学べる。</li> <li>○全体的に統一感があり、めあてをもって主体的に学べる工夫がされている。</li> <li>○家庭や家族を大切にする視点が、全ての題材を通して貫かれている。</li> <li>○「ひとロメモ」では家庭科や家庭生活で使う用語解説やまめ知識を掲載したり、「防災」「環境」コーナーを設定したりして、家庭科の学習を家庭生活に広げていける工夫がされている。</li> </ul>

種目（保健）

項目 書名	<h1 style="text-align: center;">新編 新しい保健</h1> <div style="text-align: right;"> <math>\frac{2}{}</math>          東 書       </div>		
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に示された方針に基づき、目標、内容が取り上げられ、他の教科との関連を図りながら系統的に構成されている。</li> <li>○身近な問題から学習課題を掴ませ、自分の考えを記述させたり、話し合わせたりしながら、健康で安全な生活ができる資質や能力を養わせる学習展開となっている。</li> <li>○学習内容をふり返ると共に、自分の生活との関わりに視点をあてさせ、明るい生活を営む態度を育てる学習展開となっている。</li> </ul>		
特色	内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○写真や挿絵を基にし、自分の生活をふり返りながら、学習課題に迫り、学習内容を明確にしている。</li> <li>○学習内容の理解を深める手段として「解説」を活用したり、単元毎の「学習をふり返ろう」により、学習の定着度を把握したりしながら、実践化への意欲付けを図っている。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動に「考えてみよう」「話し合ってみよう」を位置づけ事例を提示しながら、自分の生活をふり返らせたり、考えを出し合ったりして、自分の考えを深める展開となっている。</li> <li>○記述する活動に取り組むながら、自分の考えを明確にもつよう構成されている。</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動が「課題を知る・見つめる・考える・書く・話し合う・まとめる・ふり返る」の展開になっており、見通しをもって主体的に進められるようになっている。</li> <li>○「広げよう」「まめちしき」などの補足資料、調べ学習に役立つ教育情報（HP等）が掲載され、興味をもって学べる工夫がなされている。</li> </ul>	
		資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図や絵などを活用し、視覚的に捉えやすい内容になっている。</li> <li>○「解説」「資料」「まめちしき」など、補足資料が充実しており、児童の興味関心を高めさせる工夫がある。</li> <li>○本物を提示するなど写真資料が鮮明で、分かりやすい。</li> </ul>
		表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1 単位時間毎の学習課題が明確に提示してある。</li> <li>○学習過程に統一性があり、学習の見通しが立てやすい。</li> <li>○イラスト、キャラクターを効果的に活用し、楽しく学べる構成である。</li> <li>○他教科や他の保健学習との関連が記載され、学びを広げさせている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決学習への手立てがなされ、学習過程に統一性をもたせながら、基礎的な知識を学び、学びを生活に生かす構成となっている。</li> <li>○視覚に訴える資料や図・絵を多用し、興味関心を高めさせながら、健康・安全について考え・深めさせる工夫がみられる。</li> <li>○「学習をふりかえろう」により、学習の定着度を確認したり、活用したりする態度を身につけさせようとしている。</li> </ul>		

書名		項目	新版 たのしい保健	4 大日本
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。</li> <li>○場面絵を提示し、気づきから学習課題に迫る工夫がなされている。</li> <li>○1単位時間の前半で知識や技能を学び、後半では知識を活用する場面を設定して、学びを生活に結びつけ、活用していく学習展開となっている。</li> </ul>	
特色	内容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○場面絵を活用し、学習課題を掴ませ、考えたり・話し合ったりする活動を通して、基礎的な知識や技能を身につけさせようとしている。</li> <li>○吹き出しや補足資料、「ミニちしき」等により、学習意欲を喚起させ、理解を深めさせようとしている。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「やってみよう」「話し合ってみよう」「活用」の流れに沿い、思考や判断を必要とする活動を重視し、自分の考えを深める展開となっている。</li> <li>○キャラクターの吹き出しにより、学習課題を解決するための気づきを高め、思考を深める工夫がなされている。</li> <li>○単元の終末に発展資料「もっとしりたい」を設け、生活に生かしていこうとする態度を養わせようとしている。</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の導入が、課題に気付く・課題を掴む構成になっている。</li> <li>○ふり返りチェック欄や記述欄の活用により、主体的に学ぶ構成になっている。</li> <li>○情報収集に役立つ情報が紹介され、興味をもって主体的に学習する工夫が感じられる。</li> </ul>		
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場面絵を提示し、気づきや考えをまとめやすい構成になっている。</li> <li>○専門的な視点からの意見を、吹き出しやコメントを効果的に配置している。</li> <li>○調べ学習に活用できる情報が、掲載されている。</li> </ul>		
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題の提示が分かりやすい。</li> <li>○キャラクターのコメント表記を変えることで、考える糸口に気付かせ、学習内容をまとめることに役立っている。</li> </ul>		
総括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きの場面絵を活用し、学習への興味関心を高めさせている。</li> <li>○気づきを基に、学習課題を掴み、主体的な活動を促しながら、学習内容を生活に生かす学習展開となっている。</li> <li>○記述式の「活用」が設けられており、学習したことを実践につなげられるような工夫がみられる。</li> </ul>		

書名		207 -
項目	わたしたちの保健 文教社	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。</p> <p>○学習課題に迫る気づきを促しながら、身近な問題として進める構成となっている。</p> <p>○健康・安全に関する基本的な知識を学びながら、書く活動や話し合う活動を効果的に設定し、主体的に学習を進めると共に、思考力・判断力・表現力の向上に繋げる工夫がみられる。</p>
特色	内容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○グラフや図・絵を活用し、気づきを促しながら学習課題に迫り、基礎的な知識や技能を身につけさせようとしている。</p> <p>○キャラクターのコメントが、学習内容の理解を促している。</p> <p>○児童に理解しやすいように、学習のまとめを黄色の枠で目立たせたり、重要語句を太く協調したりするなどの工夫がみられる。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○「やってみよう」「考えてみよう」の活動を通して、自分の考えを書き込みながら、学習を進めることができる。</p> <p>○自分の生活をふり返ったり、生活の中での活用の仕方を学んだりすることができる学習過程になっている。</p> <p>○体験談や知識等が、吹き出しによって表現され、自己を見つめながら、考えたり話し合ったりして、まとめやすい構成となっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○自己チェックや、書き込むスペースが多く、自分を見つめながら学習を進めることができる。</p> <p>○単元の最後に発展的内容を提示したり、ホームページ等の情報サイトを紹介したりして、主体的に学べる構成になっている。</p>
	資料	<p>○絵、図、グラフ、写真など、視覚的な資料を多く掲載し、学習内容を理解しやすくしている。</p> <p>○情報コーナーや調べ学習に役立つ情報サイトが紹介され、発展学習に繋げる工夫がみられる。</p>
	表記・表現	<p>○イラストに統一感が感じられる。</p> <p>○大事な部分やキーワードが、大きな文字や太字で示されている。</p> <p>○文字やタイトルの色・大きさを工夫し、見やすいレイアウトになっている。</p> <p>○学習活動の内容が、一目で分かるように示されている。</p>
総括		<p>○自ら学習課題を発見させ、課題解決を通して、自分の生活に活用させていこうとする工夫がみられる。</p> <p>○グラフや写真等の資料が見やすく、学習内容を深めさせる構成である。</p> <p>○二人の子供キャラクターの会話により自らの課題として捉えやすしたり、大人キャラクターが知識習得の手助けをしたりと、理解を促す工夫がみられる。</p>

種目（保健）

項目 書名	<h1 style="text-align: center;">新版 小学保健</h1> <div style="text-align: right;"> <span style="font-size: 1.2em;">208</span> -  <span style="font-size: 1.2em;">光 文</span> </div>	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。</li> <li>○保健学習の系統性があり、学習課題を身近なものに設定して、健康・安全への知識を身につけさせ、学習内容の生活化を図る工夫がある。</li> <li>○書く活動、話し合う活動を意図的に設定し、見つめたり、協調したりしながら進められる構成となっている。</li> </ul>	
特色	内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小単元毎に学習課題を明示し、見通しをもって進める構成となっている。</li> <li>○「つかむ」の段階で、学ぶべき内容をおさえ、基本的な知識が身につくようになっている。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを書き込ませたり、自分の生活をふり返らせたりしながら、話し合う場面を効果的に導入し、自分の考えを深めさせ課題解決できるようにしている。</li> <li>○「習得」「活用」に繰り返し取り組ませ、自分の考えを深めさせている</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の生活をふり返り、自己チェックしたり、具体的な場面設定を基に自分の考えを書かせたりしながら、主体的な学習に繋がるように構成されている。</li> <li>○発展的な学習内容や関連内容を提示し、興味関心を広げ、自ら情報を活用できる工夫をしている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図や写真、グラフを取り入れ、視覚的に学習内容が分かりやすくなるようにしている。</li> <li>○具体的な場面絵や写真により、自分の考えを深めさせようとしている。</li> <li>○学習内容から発展させた資料（「食」「保健の広場」）により、学びを、子どもたちの生活に繋げていこうとする工夫がみられる。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視覚的に分かりやすいマークを活用し、内容を項目毎に分け、分かりやすく表記している。</li> <li>○吹き出しの活用により、子どもたち自身に気付かせたり、考えさせたりする工夫がみられる。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題が身近なものに設定されており、学習内容の習得と活用を関連づけて捉える構成となっている。</li> <li>○マーク等で記載内容を見やすくしたり、太字で重要語句を協調したりするなどにより、理解を促している。</li> <li>○「学んだことをもとにして考えるコーナー」により、習得した知識を活用する場面を取り入れ、実践的な理解へ繋げる工夫がみられる。</li> </ul>	

書名		新・みんなの保健	224 学 研
項目			
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に準拠した学習内容になっている。</li> <li>○学習課題の設定や学習活動の流れを分かりやすく示し、健康や安全についての理解を深める展開になるよう工夫している。</li> <li>○体や心の成長、個人差や事故防止等の学習を通して、思考力・判断力・表現力を身につけさせ、健康な生活を送る資質や能力を育成しようとしている。</li> </ul>		
特色	内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運動領域との関連がみられる。</li> <li>○生活のふり返り、提示資料を基に話し合う活動を取り入れながら学習課題に迫り、学ぶ内容を理解させる構成になっている。</li> <li>○学習内容に合わせて、吹き出しやコメントを活用して、学習内容を深める工夫を取り入れている。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを書いたり、話し合ったりする活動を意図的に取り入れ、自分の考えを深める学習展開となっている。</li> <li>○友だちとの協働学習の場面の設定が多く、人との関わりを大切にする学習過程となっている。</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を、身近な問題として捉えた導入となっている。</li> <li>○学習過程が統一され、子どもたちが主体的に学ぶことができる流れになっている。</li> <li>○学びを発展させ、家庭生活の中で生かす工夫がみられる。</li> </ul>	
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的な視点から捉えた資料（写真・図・グラフ）を取り入れたり、客観的資料により、学習意欲を喚起したりする工夫がみられる。</li> <li>○学習内容を生活と結びつけて考える発展資料が多い。</li> <li>○家庭や地域との関連、詳細な説明、補足情報が多い。</li> </ul>	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容に合わせたマークを活用し、児童に理解しやすい工夫をしている。</li> <li>○学習のまとめでは、文字を大きくし、分かりやすくしている。</li> </ul>	
	総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各項目で「ここで学ぶこと」と学習内容を明確に示し、児童が見通しをもって学ぶことのできる構成になっている。</li> <li>○専門的な科学的資料や発展学習に繋げる資料が多く、学びを生活に生かすことをねらいとした教科書となっている。</li> <li>○児童が、1単位授業や単元を通して、ふり返りのできる教科書となっている。</li> <li>○全ての項目の最後に「かつよう」が設けられており、学んだ知識を元に、実践的な理解へ繋げる工夫がみられる。</li> </ul>	